（大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可） 康德六年（昭和十四年）八月十一日 新京日日新聞 （夕刊） 第五千九百五十六號 （一）

新京日日新聞
夕刊
八月十日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)2325 營業局專用(3)3200
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

廣東に和平救國の叫び

今ぞ支那民衆相携え 日支の和平に邁進

汪精衛マイクを通じ大獅子吼

【廣東九日發國通】去る七月九日ラヂオを通じて支那民衆に呼びかけ蔣介石と絕緣を宣し一身を挺して日支和平の實現に向つて具體的運動に乘出し相踵ぐ敗戰に喘えぐ抗日蔣政府に一大衝動を與へた汪精衛は七月下旬彼の鄉里たる廣東に來りわが南支派遣軍最高指揮官安藤將軍はじめ日支各要人と會見し今後の和平運動の全面的展開の方策について熟慮を重ねてゐたが、九日午後十時（滿洲時間）廣東市內某所より廣東放送局を通じて「如何にして和平を實現するか」と題し次の如き演說を約卅分間に亘つて行ひ、今こそ支那民衆は前線にあるもの、奥地にあるもの、また日本軍の占領地域內にあるものも皆相携へて和平救國運動に前進すべきときであることを強調すると共に和平實現の具體的第一着手として廣東地方における中國軍隊が和平反共の實を示すにおいては占領地域における治安警備並びに行政經濟は日本軍より中國に移讓し得るとの確信を大膽率直に述べ、中國各地に澎湃として起りつゝある和平救國新中國政權樹立の要望に應へて多大の反響をまき起した

軍は全幅の賛意（南支派遣軍當局談）

【廣東十日發國通】南支派遣軍當局談＝さきに抗日蔣政權と絕緣し日本と提携して東亞の時局拾收に乘出すべく重大聲明を發表した汪精衛氏は過般來南支派遣軍最高指揮官及び軍首腦部と數次に亘りて會見し今後の時局拾收に關する根本方策を始めとし特に南支に於ける汪氏の和平運動に關しても隔意なき懇談を重ねたるにその意見は完全に一致せり、故に軍としては、九日汪精衛のラヂオ放送によりて聲明せる處に對し全幅の贊意を表し與ふる限りの協力と援助を惜まざるものなり

和平運動實行の段階に入る

【廣東九日發國通】汪精衛の和平實現運動の展開は各方面に多大の反響を呼び北中南支ならびに支那奥地各所に共鳴者續出しつゝあり、日英東京會談の原則問題取極めと英國の對支援助消極化等により汪精衛派の運動は益々拍車をかけられ臨時、維新兩政府はじめ漢口、廣東各地代表の全幅的支持と中國民衆の熱烈な和平實現要望と相俟つてその後の成行きは各方面より注目されてゐたところであるが、九日夜廣東から行はれたラヂオ演說において汪精衛は和平實現運動の具體的方針を闡明すると共に、南支においてはわが南支派遣軍當局の深き理解とその全幅的支持の下に和平實現具體的處理方針について早くも諒解が遂げられるに至つた旨を暗示し、その和平運動は既に準備的段階を終つていよいよ實現の段階に入り着々具體的成果を收めつゝある事實を有力に示した、即ちさきに日支和平提携を新中國の前進目標とすべきことを強調して支那民衆に呼びかけた汪精衛は、その後自ら陣頭に立つてこれが具體的實行に當るべき和平實現の第一目標を南支に置き七月末密かに來廣すると共にわが安藤南支派遣軍最高指揮官と會見し誠意を披瀝して時局收拾の方策について協議を遂げ、これに關し廣東

地方における和平實現についての不動の確信を得たものゝ如く、この確信に基き別項の如く大膽にその抱負をラヂオを通じて語り、今後その目的達成に全力を傾倒するものと期待されてゐる、しかして汪精衛としては南支において實現をみるべき和平方式を擴大して全國的和平の回復を期してゐるだけに、その南支工作の進展こそ今後の中國復興、新東亜建設の動向をトするに足るものとして成行きは注目せられ特に

頗る

曾ての中國革命發祥の地廣東を中心に活潑な活動を起した汪精衛の和平運動は南支および華僑方面に豫想外の重大なる影響を與へるものと解される

殲敵に最後の砲擊（潞安戰線）

廣東治安維持會蹶起

【廣東九日發國通】廣東治安維持會はかねてより汪精衛の和平運動に對して全幅的支持を寄せると共に廣東を中心とする新支那の建設をこの和平運動によつて實現すべく汪精衛の使命達成を只管待望して來たが、去月末汪精衛の來廣に際しては熱狂的にこれを歡迎するとゝもに彭廣東治安維持會長は、屢々汪精衛と會見しその時局收拾に關する意圖を聽取、今後の廣東地方和平促進の具體的方策についても重要協議を遂げ廣東治維會では

一、汪精衛の和平運動に對しては全面的にこれを支持し今後の南支處理に關しては總て汪精衛の指揮に從ふこと

一、汪精衛の最も力を注いでゐる南支廣東地方の和平實現については廣東奥地の民衆に對し今後一層積極的に呼びかけて援蔣抗日政策を抛擲し各前線の將兵並びに民衆は相携へて廣東市民と共に和平救國運動に參加するやう努力を傾倒すること

の根本方針を堅持し最初の目標をあくまで抗戰陣營の崩壞による和平實現に於て積極的運動に乘出す事になつた

會談決裂の責任は英國側にあり

＝現地軍當局自主的に行動せん＝

【北京九日發國通】日英東京會談は英國側の遷延策のため全く暗礁に乘上げたかの感があり現地代表引揚げ決意が傳へられてゐるが、右に關し現地最高當局も今次會談はもともと英國側の提議に應じて開催の運びとなつたものであり、英國側が治安問題の如き言はゞ枝葉の問題には誠意あるかの如き振舞ひを示し核心に觸れた經濟問題となるや第三國との打合せを口實に荏苒時日を遷延するは會談そのものを骨拔きとし、もつて日本の對英攻勢の鋒先を轉ぜしめんとの老獪なる魂膽たること明瞭であり、英國側がかゝる不正な手段をもつて當面の事態を糊塗せんとするの態度を改めず、會談を遷延せしめるにおいては現地代表を東京に滯留せしめおくことは何等の意義なきものと認め、會談決裂の責任は英國側にあることを宣言し、引揚げを斷行するも已むなしとしてゐる而してかゝる事態に立ち至つた場合、軍はその生存上必要と認むる事項に關しては自主的に行動し、聖戰の意義を明らかにするものと見られ、會談の前途と關聯し現地當局今後の嚴峻なる實跡は極めて注目に値するものとされてゐる

十二日褒賞傳達

政府では去る五日褒章令制定後最初の褒賞拜受者を發表したが右の內滿業鮎川總裁外四氏在京拜受者に對しては十二日午前十時より國務院總理大臣室において星野長官、岸次長、その他治安部次長、地方處長、民生部次長等列席の下に張國務總理大臣より夫々褒賞が傳達されることになつた

石塚軍曹生還す

五日の空中戰で未歸還の一人

【○○基地九日發國通】去る五日午前、午後の二回に亘りE十六型戰鬪機各六十機を相手に壯烈なる空中戰を展開しその廿七機を擊墜した戰鬪において、わが方未歸還二機と發表されたが奇しくもこのうちの石塚德康軍曹は友軍地上部隊將校に救出され八日奇蹟の歸還をなし○○基地の將兵に歡聲が擧つた石塚軍曹はこの日の大空中戰に大童の活躍をなしたが不幸敵彈を受けてホルステン河東側ノロ高地の草原に不時着したまゝ人事不省に陷つた、軈て我に歸つて見れば高原には早くも夜が訪れ折柄の月が皓々と照り注いでゐる、方向を定めやうにも一帶の草原でさつぱり見當もつかない、只北斗七星を賴りに友軍陣地と覺しき方面をさして彷徨の旅に上つた、それから地上部隊偵察將校に出會ふまでまる三日間食ふ物もなく僅かばかりの泥水のみであつた、軍曹はその間幾度となく死を決したが殪れて後やむと最後まで生き通し再び陛下のお役に立たんとともすれば弱る氣力を振い立たせて彷徨してゐたとき折よく來合せた我偵察將校に救出されたのであつた

廣東市民 多大の感銘

【廣東九日發國通】汪精衛は九日午後十時（滿洲時間十一時）廣東語で堂々三十分間に亘るラヂオ演說を行ひ和平救國の熱辯を揮つたが、廣東八十萬の市民は中國指導者民衆の救世主の謦咳に接せんものと日沒頃より全市のラヂオは悉くスヰッチを入れられどこの家も和平運動の話で持切りだ、廣東治安維持會ではラヂオを持たぬ市民のため特に四牌、一德路、德星路、德宣路の四ケ所の盛り場に大スピーカーを据付けたがこれを圍んで數千の群衆が雲集し身動きもならぬ有樣である、汪精衛の演說は平易な言葉で然も一句一句熱を帶びて續けられたが特に蔣介石こそは和平救國に對する唯一の妨害者である南支における支那軍が反共の表示をなすならば廣東における局部的停戰が容易であり、更に廣東市を廣東市民の手に還し得るとの說明に對しては多大なる感銘を與へ、南支における和平運動は今次の放送を契機として飛躍的進展をみるに至つた、尙この放送は特に華僑のため廣東語に引續き英語及び潮州語に譯して放送され深夜十一時半頃漸く終了した

台灣全島にも中繼

【台北九日發國通】汪精衛の和平救國演說は台北放送局から全島に中繼され、汪の和平聲明は新聞紙上にも數回發表されたがマイクを通じその聲咳に接するは今回がはじめてなので四萬三千の在台華僑に多大の感銘を呼起し、午後十時前には各家庭は勿論各商人もスピーカーを店頭に備へて附近は何れも黑山の人だかりである、定刻十時（臺北時間十一時）になると先づ廣東よりのアナウンスの後に聞えて來るのは汪氏の聲だ、太い力強い聲だ、雜音もなくまことに明瞭に聞えた、人々は一言も聞きもらすまいと咳一つせず熱心に聞入り熱烈なる演說が終ると何れも感動のあまりしばしどよめき渡つた

滿洲興銀株主總會 配當六分据置

預金貸出共に急增業績向上

滿洲興銀第五期株主總會は十日午前十時より本行會議室に於て開催、政府代表として韓經濟部大臣、青木監理官出席本年上半期決算案を異議なく可決し同十一時散會、株主配當は六分据置と決定した

△利益金處分案
一、總益金 二千四十六萬四千三百四十六圓五十八錢
一、總損金 千九百三十一萬千九百三十六圓二錢
差引
一、純益金 百十五萬二千四百十圓五十六錢
一、前期繰越金 二十四萬三千七百三十四圓十錢四厘
合計
一、利益金 百三十九萬六千百四十四圓六十六錢四厘
この處分左の如し
一、缺損補塡積立金 五十萬圓
一、配當平均積立金 十萬圓
一、使用人退職慰勞積立金 五萬圓
一、株主配當金 四十五萬圓
一、職員賞與金 五萬圓
一、後期繰越金 二十四萬六千百四十四圓六十六錢四厘

滿洲興銀の第五期業績を主なる勘定について見るに產業開發の急テンポの進捗に伴ふ商工金融の飛躍的增大の結果全般として極めて堅實なる發展振りを示してゐる、即ち當期純益金は百十五萬圓で形式的には前期に比し僅かに四萬圓の增加に過ぎないが他方資產銷却高を見ると當期は三百六十四萬圓で前期に比し百七萬圓の著增振りで努めて內容充實を企圖してゐる事が判る從て純益金と銷却高を合算した利益金勘定は約四百八十萬圓で前期に比し百十一萬圓の增加となり業績の急速なる改善振りが看取さる、次に當期末預金殘高は五億二千三百萬圓で前期末に比し一億三千八百萬圓の增加となり貸出殘高は五億二千七百萬圓で前期末に比し一億一千五百萬圓の增加を示し預金貸出共に記錄的增加を示してゐる、預金の急增に伴ひ資金繰りにも相當餘裕を生じたゝめ借入金勘定は約九千三百萬圓前期末に比し約二千一百萬圓の減少を見るに至つた、なほ債券發行高は約二千九百萬圓で前期に比し約一千三百萬圓を增加したが、これは去る三月日本において滿洲興業債券一千萬圓の發行と、同六月國內において滿洲儲蓄債券三百萬圓を發行したことに起因するもので長期興業金融と中小商工金融とを兼營してゐる同行業務の發展を示すものである

人事往來

着京

▲谷安三郎氏（製紙業）九日來京滿蒙ホテル ▲奧野善次郎（同）同 ▲後藤順三氏（會社員）同 ▲德本隆吉氏（同）同 ▲米由傳吉氏（農業）同 ▲大西武雄氏（官吏）同 ▲小川貞雄氏（會社員）同 ▲柴田喜十郎氏（同）同 ▲金谷勇氏（吳服商）大都ホテル ▲飯田義質氏（滿鐵社員）同 ▲飯田國雄氏（教員）同 ▲山本幸一氏（官吏）同 ▲大竹和吉氏（同）同 ▲大家福一氏（材木商）同 ▲西村良次氏（會社員）同 ▲友國新太郎氏（同）同 ▲水野寬氏（同）同 ▲後藤李次郎氏（官吏）同 ▲田中知平氏（商業）ヤマトホテル ▲小柳津正藏氏（會社員）同 ▲藤井榮治氏（同）同 ▲小原貞敏氏（滿鐵社員）同 ▲松田道夫氏（官吏）同 ▲松浦幸之助氏（會社員）同 ▲宇野傳氏（官吏）同 ▲井上功氏（滿鐵社員）同 ▲南部香峰氏（畫家）同 ▲古武正男氏（滿鐵社員）同 ▲磯部貞次氏（東亞酸素工業會社）國都ホテル ▲木林清一郎氏（會社員）同 ▲林田進氏（滿洲鉛鑛會社）同 ▲和田春彥氏（滿炭社員）同 ▲太田彥作氏（會社員）同 ▲安達三十四氏（鋼鐵機械商）同 ▲平野宏氏（延和金鑛公司）同 ▲八東利敬氏（同）同 ▲長尾贇氏（滿洲鉛鑛會社）同 ▲栗山茂二氏（通化省次長）同 ▲小川政之助氏（大倉商事會社）同 ▲山下慶治氏（木材商）同 ▲本多思郎氏（會社員）同

出發

▲中島勝次氏 大連へ ▲江島靜男氏 同 ▲田中乾一氏 奉天へ ▲金田純一氏 同 ▲三浦幸治氏 同 ▲宮地一一氏 同 ▲伊本幸雄氏 哈市へ ▲米重常吉氏 同 ▲長岡禎氏 大連へ ▲築谷章造氏 牡丹江へ ▲平島弟三氏 大連へ ▲根本富士雄氏 奉天へ ▲水知速淸氏 同 ▲高橋正雄氏 哈市へ ▲吉川武男氏 奉天へ ▲松浦孝之助氏 同 ▲中田忠氏 哈市へ ▲石川直吉氏 四平街へ ▲山崎茂雄氏 大連へ ▲上田一義氏 同 ▲宇佐美靈氏 奉天へ ▲下村泰三氏 哈市へ ▲尾中義三郎氏 同 ▲大石一雄氏 同 ▲牧野隆一氏 大連へ ▲佐野川成治氏 奉天へ

その日〳〵

□ 和平救國の叫び廣東に擧る 支那を救ふものは支那なり、列國に非ざるなり

□ 汪の救國の叫びを我が安藤南支派遣軍司令官全幅的に支持、この時、この人

□ 英國の股檔政策いよ〳〵露骨、初めから見え透いてゐたこともう瞞されまいぞ

□ 蔣介石を相手とせざる日本が援蔣の張本英國を相手とすることが間違ひ

□ 秋立ちたれど殘暑去らず、作物の枯死憂慮さる……けふ張鼓峰事件から一年

協和服本來の使命促進へ
生活必需品會社で 價格、配給を統制
來月始めを期し實施

協和會服が今や滿洲國の國民服として社會各層の間に遍く用ひられるに至つたことは周知の所であるが、近時材料の高騰等の理由もあり同服の價格騰貴し同服制定の本來の趣旨に反するやうな弊害も現れ來つた、滿洲國當局ではこれが影響する所の甚大なのに鑑み今般經濟部に於いて協和會服價格統制要項を定めその材料の製造規格、その調整、配給方法等を統制し以て價格の低廉普及の促進を期し物價問題解決の一助に資することゝなつた、そしてこれが實施は生活必需品會社を中心に行はしめることゝして居りその要領は次の通りである

一、重要產業統制法の運用に依り服地の規格を一定し價格を公定す
二、生活必需品會社をして服地の輸入を一手に行はしめ又支配的に服地及既製品の販賣を行はしむ
三、洋服調製業者をして組合を結成せしめ料金を統制す尙ほ生活必需品會社には仕立に付特約下請機關を有せしむ
四、既製品の販賣價格を公定す
五、別途夏服に付簡便經濟的なる樣式を定む

このため生活必需品會社では愈よ九月始めを期し速急にこれを實施することゝなり、十日午前十一時から中銀俱樂部に於いて協和會服價格統制實施に關する打合會を開催、服地生產者側より日本毛織、滿蒙毛織、康德毛織、洋服調製者側より三中井裁縫工場、丁字屋裁縫工場、有道公司裁縫工場、滿鐵消費組合裁縫工場、監獄作業、洋服商組合、滿洲白洋舍クリーニング工場、配給者側より滿洲國官吏消費組合、三中井百貨店、丁字屋洋服部、寶山百貨店、ニッケギャラリーの各代表者並びに通信新聞關係の出席を乞ひ實施具體案の細目に亘つて協議を行つた、大體生活必需品會社立案の方法によつて實施することとなるものと見られるがその主要點をあげると

一、業者所有の協和會服地は全部生活必需品會社に賣渡す
二、服地は甲種、乙種の二種とし各價格を定める(未確定)
三、國外よりの服地輸入は生活必需品會社で行ふ、從來の輸入業者は必需品會社の下請機關として存續さす
四、洋服調製業者は賃裁縫の形式により既製服を調製する
五、洋服販賣業者は必需品會社の指定により既製服を販賣する
六、顧客よりの注文により製造する場合は所定裁縫賃に依る

以上の通りで、愈よこの統制實施の曉は、公正低廉な統一的な協和會服が整然たる統制下につくり出され供給されるわけであつて、一般國民に多大の便益を與へこの服本來の面目を發揮するであらうと大いに期待されてゐる

滿鮮對抗競技に 滿鐵選手不參加
一部競技は擧行不能

待望の滿鮮對抗競技會を目睫に控へ準備全くなり出發待期中の滿洲代表選手陣に突如滿鐵より「時局柄社員の社、國線以外への旅行を禁ず」との諭に依り滿鐵社員選手朝鮮遠征禁止命令が下り遠征選手二百三十一名中滿鐵關係の選手四十餘名が出場不能となり殊に女子卓球、排球は總崩れの型で今更補充もつかず或種の競技は放棄の止むなき狀勢に體聯を狼狽させてゐる、右について鈴木體聯主事は語る

さきに內地都市對抗野球に奉天滿俱に遠征禁止命令が下りその後交涉の結果社國線內は特に許すと禁足令が一部緩和されたので今回の滿鮮對抗大會だけは何とか好轉するものと考へ滿鐵社員から多數選手を選拔して置いたのに突如この命令で約四十五名の優秀選手が出場出來ぬことは大變な痛手ですが、事時局柄に鑑しては何とも言へず殘りの選手で奮鬪するより外はありません、選手なんてものは量より質の問題でこれが補充に人員だけ增したからとて成績が擧るわけのものではなし原則として選手の補充はせんつもりです、卓球、排球等の女子軍の行けなくなつたことは殘念です、或はこれに依つて一部競技が出來なくなる種目も出來るかもしれませんが時局柄なら止むを得ないでせう

麻藥患者斷禁へ 積極的取締り
◇……特殊職業婦人に鋭い眼

老獪英國の極東政策の卑劣な手段としてアジアに蔓延した麻藥患者は王道樂土滿洲國の斷乎たる斷禁國策により英國の極東に於ける勢力の消滅と步調を合せる如く激減しつゝあるが、阿片撲滅策として新京市公署經營になる南關の新京戒煙所には强制的に、自發的に阿片吸飮の惡夢から解放されようと入所してゐる患者は十日現在百八十四名、その內譯は邦人男七名、女四名、滿人男十名、女六名、滿人その他百五十五名であるが、最近邦人患者の數が率に於いて頗る多く、そのうち女性患者は全部女給、藝妓等であり羅病經路はいづれも頽廢的な生活を續けるうち、意志の弱いものが知らず〳〵のうちに惡夢の暗闇に足を踏みこんだもので、首都警察廳衞生科では保安科と連絡の下に特殊職業婦人の日常生活に鋭い目をそゝぎ、場合によつては吸飮を承知の上で放置してゐる營業主に對しても斷乎たる處置を講ずることになつた

▽▽サルバドル國の▽▽新京領事館開館△△

友邦サルバドル國の駐滿新京領事館の開館式は十日午前十時三十分より同國より新たに名譽領事に任命された新京財界の巨頭王荊山氏邸新京日之出町九丁目二ノ一に於て呂產業部大臣、蔡外務局長官、三浦總領事、ワグナー獨公使、ゼッカ伊公使代理、關東軍小島中佐等約四十餘名の來賓出席裡に盛大に擧行された【寫眞は(上)飜るサルバドル國旗(下)領事館開館の祝宴】

遊佐馬政局長

約一ヶ月に亘り東北、北海道方面へ出張してゐた滿洲國馬政局長遊佐幸平氏は九日午後五時日滿連絡飛行機で歸任した

薄利の小麥粉配給 當局善處すべし
市民間に非難の聲

國都の重要問題の一つとしてとり上げられてゐる小麥粉問題については市當局で曩に七月分の配給一萬袋を發表したが、八月上旬を過ぎた今日尙小麥粉の姿を見ず、當局また沈默を守つてゐる現狀であるだが待望の小麥粉は第一船四十萬袋を輸入、大連埠頭に山を築いてゐると報じてをり日ならず國都にもその姿を見せ遲まき乍ら飢饉は解消されるであらうが、尙殘された問題として配給問題があげられどう配給するかは未解決のまゝ殘されてをり當局の態度には多大の注目が拂はれてゐる、去月七日市は小麥粉飢饉の對策と共にその圓滑なる配給を期して臨時區長會議を招集し區長側から薄利に泣く小賣業者の救濟案が提案され、現在小麥粉一袋に對する利益は二十三錢で製粉聯合會が十錢を天引、殘る十三錢が小賣業者の利益となり、十三錢の內四錢は稅、四錢は運賃、殘る五錢が純利益となるが、破袋は業者の負擔となりさらに前金制度は結局金利にもならぬと言ふ小賣業者には骨折り損に過ぎない制度となつてゐる、これに對し區長側から

一、聯合會は十錢の利益或はその一部を小賣業者に與へる
二、前金制度を廢し市長の裏書きによつて代金後拂制度を認め
三、公定價格を上げるか、原價を下げるか

以上三項目の小賣商救濟案を上程、市當局の善處を求めたに對し席上市當局幹部より聯合會は新京市に好意を有してゐる、かくの如き提案は徒らに同會の感情を害するもので今後の配給割當に不利であるとの答辯があつた「感情に左右され割當を手加減するとは何事だ」と俄然區長側は憤激一波瀾を捲き起したが結局右三案に對し市の善處を要望解散、爾來一ヶ月有餘市は尙これに對し何等の回答を發せず區並に小賣業者は本問題解決を見ぬ限り配給の斷乎拒絕を表明してをり今後の成行は注視されてゐるが、市當局の無責任な態度については囂々たる非難が擧つてゐるが、このまゝ放任する場合に於ては何等かの形に於て問題は表面化するものと見られてゐる

滿洲視察の斡旋
滿洲觀光協會に統一

對滿認識の徹底化、開拓國策の昂揚に伴ひ、滿洲視察者は逐月激增を示しつゝあるが、これら滿洲視察者連は各自開拓總局、滿鐵、拓植委員會、滿拓等の各機關にそれぞれ任意的に出頭、視察日程の編成は素より宿泊、交通の便の依賴より中には資金の援助等をも申込み來り甯でさへ複雜化しつゝある開拓擔當者の事務に多大の支障を來しつゝあるに鑑み曩に開催された滿鐵、滿拓、拓植委員會、開拓總局、協和會、鮮拓、經濟部、鐵道總局より成る連絡會議においてこれが對策として滿洲觀光協會に一元化せしむべく同時に觀光協會の機構全滿營業網の擴充については政府より積極的援助をなすことに決定した、滿洲國側としては輸送不圓滑の際ではあるが特に日本人の對滿認識助長のためには決してその視察を拒否するものではないが、前述の如く各自の立場において各機關にそれぞれの希望を述べて視察斡旋の依賴が殺到することは開拓事務遂行の支障を來すのみならず依賴に對し完全を期し難いものがあるので滿洲視察者のすべての依賴は觀光協會に一元化し視察者側開拓關係機關側共に勞を除かしむることゝなつたもので、觀光協會に對しても政府より近く諒解を求めることゝなつて居り、同協會が全滿各地に增設すべき支部については可及的援助を行はんとするものである

八島通晝夜郵政局
愈よけふから店開き

新京郵政管理局の劃時代的試み晝夜郵政局は市內八島通郵政局で十日から店開きを始めた、この晝夜郵政局は世界では獨逸が四、五年前から實施してゐるのみで滿洲國今回の試みは一般民衆の利便はいふまでもなく、新興滿洲國を世界に認識させる上から見ても極めて效果的であり各方面から絕讚を博してゐる、開設にあたり三好八島通郵政局長は語る

この企ては郵政當局が多年調査研究の結果であり、幾分なりとも公衆の利便となれば幸ひです、取扱時間は當分午後十時頃までとなつてゐます、しかしこの時間は決定的のものではなく暫らく實績を見た上で時間の伸縮を考慮する積りです、精々御利用を願ひます

【寫眞は十日から開始した八島晝夜郵政局當局と三好局長】

街の日記

防空映畫の會

一般市民に對し時局の重大性を認識せしめ國防思想の普及特に防空智識を修得徹底せしめるため新京特別市公署、首都警察廳、電業新京支店、首都協和義勇奉公隊主催、滿洲防空協會、滿映後援の防空映畫會は既報の如く十一日寬城子中學校をトップに十七日迄八ヶ所で實施し目からの防空敎育を施すことゝなつてゐるが時間は每日午後八時より十一時迄、雨天順延、入場料不要、一般市民多數の來場を希望してゐる

寶生流謠曲大會

新京寶生會では同流能樂師佐野巖、野村謙兩師ならびに大連の片桐敏博師を加へた寶生流謠曲演奏大會を十二日午後七時から滿鐵白菊會館で開催會費二圓、會員券は大興公司雨森、泰正號奧多、大信洋行武部の三氏が扱つてゐる、因に當日の素謠は善知鳥、砧、高野物狂、仕舞は八島、籠太鼓殺生石で何れも三氏が出演

法政大學奉仕隊

七月十三日新京發作業地に向つた滿洲建設勤勞奉仕隊新京法政大學中隊二百九名は來る十一日午後六時四十二分安達驛を出發、十二日午前六時五十三分新京驛着歸京する

あす(十一日)

▲練習艦隊乘船員一行來京 午前九時五分
▲國婦理事會 於國防會館 午前八時

伊通街道に 拳銃强盜

九日午後十時頃市內民豐胡同李春(三一)李景玄(二七)兩名が和順署蓮子洞分駐所管內分駐所東方一キロの伊通街道を通行中、突如拳銃所持の三人組怪漢が現はれ兩名を脅迫、荷馬車一台、馬三頭、リヤカー一台を强奪、威嚇の一發を暗闇に放つて逃走した、屆出に接した和順署では本廳に急報すると共に管內に非常線を張り犯人追及中である

自由開拓民
既に一萬人に垂んこす

廿ヶ年百萬戶入植開拓政策はその前半は主として集團開拓民を以てし、その後半は集合開拓民所謂自由開拓民を以てするを原則となし、集團開拓民については目下第九次本隊入植中であるが、集合開拓民の實績は目下のところ集團開拓民の如く全力を傾注してゐないにも拘らず、今回滿拓の調査せるところによれば左の如く、戶數既に二千戶に垂んとし、家族を加へる時は總人員一萬人に達せんしてゐる、集合開拓團すなはら自由開拓團は集團開拓の如く北滿に限定されず、又劃一的農法に從ふものでなく、林業、牧畜、果實、蔬菜、葉煙草、酪農等の特殊的產物を對象としてゐるだけに自由開拓團の發展擴充は國內における特殊產業の助長、育成に寄與するところ多く頗る注目されてゐる、五月末現在における省別入植戶數左の通り

三江省=一九〇、濱江省=二七〇、北安省=一三八、吉林省=一二八、牡丹江省=五四二、奉天省=一〇九、錦州省=一五、興安南省=四三、興安北省=六〇、東安省=一八〇、間島省=九二

全滿記者聯盟代表在海部隊慰問

ハルハ河を挾んで激戰を展開よくこれを擊退した皇軍勇士の戰功に應へ併せてこれを慰問せんがため全滿記者聯盟代表の日滿軍慰問使團國通理事升井芳平氏以下六氏は、九日午前六時十五分海拉爾着列車で海拉爾着、少憩の後各部隊を歷訪し、左の如き慰問文に添へて慰問品を贈呈した、なほ一行は十日早朝當地出發第一線將士の慰問に向ふ豫定である

△慰問文

大陸作戰の正に終機なからんとする秋北邊屯在の將士各位が沈默の要塞として對敵し鬱然動かず不斷の緊張と無休の監視とをつゞくるの如何に勞苦多きかを想ひ感激感謝の情を寄せ來りたるが、圖らざりき這次ノモンハン附近において不法越境の醜虜再び三度領土侵犯を企て來らんと敗敵の群電馳して忽ちこれを摧破するを難しとせざるも赫々たる戰果たるや專ら將士各位の勞苦に存すと言はざるべからず而して遂に草むす屍となれる幾多英靈のあるを知る、全滿新聞聯盟は今代表を派して新戰場に立たしむ、茲に英靈に對し深く敬弔の意を表し將士各位の勞苦に對し厚く敬謝の念を捧ぐるものなり、謹みて呈して慰問の辭とす

國防献金

市內老松町一八松龍祥行內趙鎔氏は先に妻女を亡ひ、十日その七七日の忌明に當り時局柄、香奠がへしを廢し國防献金を行ひ、故人の追善に資し度しと金三十圓を本社に寄託があつたので、所定の手續を了した

ラヂオ當籤番號

電々ラヂオ春季賣出しに對する抽籤は十日午前九時電々本社で行はれたが、當籤番號は左の如し

△頭彩(千圓)一五、二二六(錦縣)
△二彩(三百圓)一三、三四二(鞍山)九、〇八五(奉天)
△三彩(百圓)七七六(大連)三一、八〇四(綏化)二八〇八三(哈爾濱)三、六四二(甘井子)
△四彩(五十圓)四二四、五五七九、七、七一二、八、一六四、九、七二一、一一三三二、一一、五七四、一二、六六九、一五、一六八一六、二五八、一六、五五九、一八、〇六二、一九、六七七、一九、七〇四、一九、七四六、二六、一四〇三〇、四四六、三六、四四七、三九、五一四、四一、二五六

團體往來(九日)

▲宮崎縣高鍋農學生五十名 午前零時三十八分哈爾濱より
▲濱松高工電氣化學科生 午後三時十分哈爾濱より
▲蒙古人政治訓練所旅行團二十三名 午後四時二十分奉天より
▲哈爾濱白系露人協和青年團百八十名 午後十一時五十分哈爾濱へ
▲山邑謙三氏(山邑酒造會社取締役) 午前八時十五分發哈市へ

今晚の主なる放送

▲七・三〇國民の時間總務廳次長谷次亨(新京)▲七・四〇齊唱と合唱聖母讚歌(外四曲)葉月會(奉天)▲八・〇〇浪花節「日の丸馬車」中田比良夫作、梅原秀夫(東京)▲八・三〇ノモンハン事件特輯(二)現地報告(綠管)航空隊の活躍、航空兵大尉小出武雄(同)水崎肇(新京)▲九・〇〇盛夏に鍛ふ(大阪)▲九・一〇邦樂名曲選 唄吉住小三藏(外)(東京)

映畫と演藝

大同劇團が映畫に初出演

滿映「黎明曙光」に

荒牧芳郎脚色、山内英三監督「黎明曙光」に松竹より笠智衆、西村靑兒が特別出演する事は既報の通りであるが、滿洲に於て同じ文化宣撫工作運動にたづさはる大同劇團が、脚本の趣旨に讃同し根岸製作部長（大同劇團理事）を通じて應援出演する事に決定した劇團の映畫に出演する事は日本に於ても前進座、新協劇團等々其の實蹟に付いては論ずるまでもなく、映畫の進歩と相俟つて劇團の行詰りをも打破して居り、此の意味からしても今回の大同劇團の出演は各方面から期待されて居る

各館評判記

◇……長春座、銀座キネマ朝日座けふから寫眞替り、前二者は封切陣、後者は再映陣です

◇……先づ封切陣からゆくと松竹勢は現代劇「素晴しき哉彼女」に久し振りに高峰三枝子の主演を得て野村浩將の商魂に物を言はせました、佐分利信が相手役で水戸光子、三浦光子の助演陣を布いて内容はとも角大船調は一通り樂しめさうであります、添物は好太郎の「小栗栖の長兵衛」で伏見信子、志賀靖郎、光川京子、尾上榮二郎が助演、多島泰三の野心作とは言はれますが、上手くいつてもうけ物下手にいつて當り前といつた程度ですかナ

◇……新興勢は大谷日出夫、羅門光三郎共演の「西郷と益滿」が大衆興味のあるものでせう、淺香新八郎、森靜子が助演、維新大業の表裏に夫々波瀾の生涯を送つた二人男の友情と信義を描いた仁科紀彦作品、これはちよつと頂けさうです、併映作品は新田實、眞山くみ子、高野由美の「海棠の歌」で小島政二郎原作小說の映畫化、眞山くみ子が劇中劇「保名」を心臟で踊ります、深田修三作品

◇……再映陣は大物が揃りました、松竹ブロック總動員黒田お家騷動に絡んで忠臣栗山大膳の貫く誠忠を眞面目に描いた「黒田誠忠錄」で東寶に走つた衣笠貞之助監督作品阪東妻三郎主演の他に高田浩吉、坂東好太郎、岩田祐吉、藤田研二、飯塚敏子が助演、珍らしく浩吉が惡黨に扮して活躍するのも興味でありませう、添物は高杉早苗、桑野通子、高峰三枝子三スター共演の「螢の光」で、これは同じ佐々木康の音樂映畫といつても「荒城の月」のやうな好調を期待しては見當が外れます

マック・セネット 久振り映畫出演

◇……珍しくも米國映畫界の先覺者マック・セネットが俳優としてカムバックする、セネットと云へば最初映畫俳優として出發し、更に製作者兼社長として幾多俊才を生み出したヴエテランで、試みに彼の傘下から輩出した名優連を拾ひ出してみると、男では先づ喜劇界の大御所チヤーリイ・チャップリンを始めとしてベン・ターピン、ハンク・マン、フォード・スターリング、マック・スウエイン、デブ公のロスコー・アーバックル、女ではグロリア・スワンソン、マリイ・プレヴオ、メエベル・ノーマンド、メリー・サーマンその他幾多の人々の名が擧げられる

ネットの映畫出演は一九一七年以來廿二年振りのことで、今度の出演映畫は一九一三年から二七年迄の映畫の都聖林を取扱つた米國映畫の發達史ともいふべき廿世紀フォックス製作の天然色映畫「聖林カヴアルケード」で、永年この國の映畫界を育て上げて來た長老セネットにはもつて來いの作品である

寶塚少女歌劇 北支皇軍慰問

【大阪國通】寶塚少女歌劇北支皇軍慰問團の顔觸れは七日天津乙女、雲野かよ子、水乃也清美、糸井しだれ、外女生徒樂手等廿五名と決定、一行は來る廿一日午後商船バイカル丸で神戸出帆、廿四日朝靑島に上陸、濟南、徐州、新鄕、石家莊、太原、源平鎭、寧武、大同、張家口、北京、天津を廿六日間に亘り皇軍慰問の旅を續ける豫定である

米女子庭球マーブル嬢銀幕入り

【ハリウッド六日發國通】米國女子庭球界の明星として幾多の國際試合に活躍した同國ナンバーワン、アリス・マーブル嬢は過般斯界の最高峰たるウインブルドン選手權の覇權を獲得、最早なすべき事なしと見て今[illegible]久しいコート生活に袂別、銀幕スターとして新らしくスタートすることを聲明、歐米庭球界に話題を投げてゐる

マーブル嬢の映畫界入りは曩にスケートのスターソニア・ヘニー嬢を銀幕に紹介したフランク・オルザツテイによつてなされたもので映畫界は早くも彼女の將來に期待しその輝かしい前途を報じてゐる

法律子役を護る ジヤツキー・クーガン法

銀幕に活躍して莫大な稼ぎ高を擧げる子役の收入を、少くとも半分だけ信託して兩親から保護するといふ子役保護法がこの程カリフォルニア州で成立、來る九月十九日から實施される事になつた、これは過般往年の名子役ジャッキー・クーガン君が其の兩親と財產問題で裁判沙汰になつて問題化したところから俗稱「ジャツキー・クーガン法」と呼ばれてゐる、これによつて將來裁判所は子役の收入の半額の信託を命じ、これを兩親の財產から區別する事が出來るわけである、なほ最近ユニヴアーサル映畫會社と十六歳の人氣子役デイアナ・ダービン嬢との間に向ふ五ケ年間の收入豫定額九十七萬五千弗の半額を信託にする契約が成立したがこの契約はこの「ジャッキー・クーガン法」の精神に則つた最初のものであると

滿映撮影便り

‖劇映畫の部‖
△水ケ江組『煙鬼』錄音中
△大谷組『東遊記』整理中
△高原組『眞假姉妹』整理中
△水ケ江組『國境之花』撮影準備中
△山內組『黎明曙光』撮影準備中
‖文化映畫‖
△津田組『勤勞奉仕隊』撮影中
△新田組『大地的光明』撮影中
△高原組『小八家子』撮影中
△新田組『聯合協議會』整理中
△上砂組『阿片』撮影準備中
△森組『第二次黎明の寶庫東邊道』整理中

仙人掌

本日演じますは艶麗々花紛扇席競女〃ダイヤ街は扇芳亭の美女艶艶錄▼扇席の元老、兵隊藝妓のお妻姐さん、何といつても藝でこい、氣前でこいの今樣長兵衛、女の中の女でござる、檢番の西園寺さんである大姐御、人におくれはとらぬわい▼次に控えたるは加茂川の水で產湯を使つた笑奴姐さん、踊は名取、下方も名手、氣立優しく情にもろく京女の名にふさはしき年增のナムバーワン▼三人目に控えたは筑波おろしは江戸つ子の小唄師匠一美姐さん、いふ言の葉も伊達姿、隅田の川は白魚の得もいはれぬ優しき芝居鑑▼四人目は天下の絕景宮島生れの照若姐さん、仕込藝妓の指南番、藝達者で誇りもしない品のよさ主人大事に辛捧した甲斐あつてのなくてはならぬ存在である愛想よし▼五人目に控えたは萬葉集の言の葉にゆかりも優しき一葉姐さんの立姿の美しく藝も達者ののど自慢、お酒は一寸丸橋忠彌御の隅からほんの五合、亂れ次も見せぬ女伊達▼さてそのは中京は金の鯱鉾雨ざらし〃左樣かなもゝも消えうせてそのスタイルは扇席一、すらりと立つた優姿、氣立は江戸好み客を大切に氣持よく朋輩衆をいたわつて誇らぬ心意氣、體は大きいが小丈とはこれ如何に

雜音

長春座の「愛染かつら大會」再三の登場にも拘はらず依然として强引な持力を發揮し、この暑さにもめげず善男善女の參詣で賑はつてゐる▼新キネ、豐劇の「禍福大會」もよく平日ながら初日から客足を詰めてゐる、次いで東寶「娘の願は唯一つ」松竹「鬼面三ケ月黨」東寶「白薔薇は咲けど」同「美しき鷹」松竹「結婚天氣圖」「月夜鴉」などが續くが▼豐劇の方へは十五日から「黑い瞳」「會議は踊る」の洋畫プロが出る他、豫定されてゐるものに「シピオネ」「望郷」「FP一號應答なし」「外人部隊」「舞踏會の手帖」などがあり、愈よコゝも洋畫ブロに積極的に乘出して來た▼大連六館に次で奉天銀映劇場の聯盟脫退は〃東京會談〃阻止運動の表面化したものと見られ注目に値するが、この脫退に對して聯盟が沈默を守つてゐるのは大勢に何ら影響なしと見受けられる、豫定通り〃會談〃は開始せられるのであらう

東京・本鄕・神誠館

八月十一日 金曜 庚辰 先勝 成 鬼宿
六月廿六日

●一白の人 見込みたる事も中途にして行違を生じ易し西と乾と東が吉
●二黑の人 表面の景氣に驕らるゝ時は糠喜びに終る日南と西と乾が吉
●三碧の人 心平靜なる時は運氣刻々と吉に向ひ進む日北と巽と南が吉
●四綠の人 努力は萬福の基ひ辛抱强き者は末勝を占む壬と北へ南が吉
●五黃の人 自儘心を抑へ大小となく目上に從ふて吉し南と西と乾が吉
●六白の人 引込み思案を起さず氣を勵まし進みて吉し坤と艮と西が吉
●七赤の人 吉日なれども油斷すれば秩序次第に亂れん坤と艮と北が吉
●八白の人 內輪より事の破れを生ずることある日注意南と西と乾が吉
●九紫の人 物に倦まざる時は大吉の日となる但旅行凶巽と東と乙が吉

—松竹大船夏季超特作—

—野村浩將監督作品—

素晴しき哉彼女

八月十一日封切 十六日まで……

夏の蒼空にポッカリ浮んだ雲！遙か彼方の牧場の香を乘せて訪れる薰風！あの味です愉しく朗かな素晴しい魅力！只もう嬉しい胸の高鳴る素晴しさ！

脚本・池田忠雄　撮影・高橋通夫　音樂・萬城目正

佐分利信　高峰三枝子　三浦光子　水戸光子

河村黎吉　三井秀男　吉川滿子　岡村文子　笠智衆　大山健二

(四)
康徳六年（昭和十四年）八月十一日
新京日日新聞
商況
海外經濟電報
各地商品市況
各地特産市況
東京株式
振興洋行證券部
銀座キネマ
帝都キネマ
長春座
岸本チエーン
映畫御案内
豊樂劇場
新京キネマ
朝日座
亞興スタンド（下階）
亞興カフエー（上階）
開設
生ビール
日本橋通・電③4583
暑さ負けする方々の夏の心得
夏負けは、暑さからくる疲労、倦怠が最大の原因です。暑い季節には身体のなかに疲労素を停滞させない事です。
筋肉や血液の中に疲労素が蓄積されると、肉体の抵抗力が次第に低下してきます。
日常「仁丹」を用ふれば組織の栄養を旺盛にし、神経系の興奮を迅速に鎮め能く疲労を恢復して生気を、とり戻し、精神も明朗となります。
仁丹
主効
胃腸強化
口中殺菌
頭痛目暈
疲勞恢復
惡疫豫防
口臭除去
体育容器
明朗な色彩に銀線の模様
携帯に至便な近代的型態
時局下体育認識の一助に
今／仁丹五十錢分に添附
酷暑の戦地へ！送る慰問袋や、手紙には陣中薬仁丹を是非！入れて下さい
慰問袋
昭和の常識

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二一 營業局專用(3)三三〇五
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

對歐策愼重を期す
五相各自に試案練る

【東京國通】歐洲對策に關する八日の五相會議は陸相より提示された陸軍側の意向に基き一應の意見檢討を終了し、各閣僚間で考慮を重ねた上更に次回の五相會議に臨むことゝなつたが、平沼首相はじめ板垣、米内、石渡各相の意見は既に出盡して居り殊に平沼首相は進んで所信を披瀝しその意向も充分明確になつたので目下各閣僚間でそれぞれ八日の五相會議の席上開陳された意見を參酌し試案の研究中で有田外相としても外交當局の立場より同樣試案の研究を進めてゐる、從つて次回五相會議では有田外相はじめ各閣僚よりこれ等試案を持寄り協議が進められる筈だが、各閣僚とも諸情勢の推移に鑑み愼重を期してゐるので、次ぎの定例五相會議日たる十一日までに間に合ふか否か不明で間に合はねば十五日の定例閣議とならう

英側、尙遷延を續ければ東京會談は打切り
加藤公使、再開を督促

【東京國通】日英會談は既に治安問題が九分通りの妥結を見、經濟問題も今後妥結に到達すべき見込充分あるにも拘らず回訓未到着を理由に會談中絶、十日に及ぶ英國側の不誠意態度に對し我方としては此の上英國側が會談を進行せしめる誠意を示さゞる場合は現地代表を引揚げしめるの措置に出づるも已むなしとし、九日夜外務、陸軍兩當局間に之に關する重要協議を遂げた結果、加藤公使は十日午前十一時半外務次官々邸にクレーギー駐日英大使の來訪を求め卅分間に亘り會見「速かに日英會談を再開するやう英國側の準備を整られ度い」旨端的に申し出で重ねて英國側の猛省を促し嚴重督促を行つた、而して英國側が我方の條理を盡した申し入れにも拘らず更に誠意を示さず遷延を續けるにおいては我方は東京における交渉を打切り現地代表を歸還せしめ日英會談を天津の現地に移す外なしとの毅然たる方針を決定してゐるので英國側の出樣如何によつては東京會談は重大なる事態に逢着すべく、然も右は全く英國側の責任にあるので玆一兩日の推移如何は極めて注目される【寫眞は加藤公使】

闇夜を利し敵陣攻撃（沁安戰線）

武藤少將引揚を決意
老獪英の不誠意

【東京國通】日英會談の現地軍代表武藤少將は現地において現在作戰行動が進行中の際英國側の事情のため荏苒日英會談の再開を待つてこの上滯京することはその任務上許さないのでいよ〳〵兩三日中に現地に歸任することに決し十日外務省側と打合せこの旨加藤公使よりクレーギー英大使へ通告せしめたが同日陸軍省部首腦部に對しても夫々日英會談の今日までの經過を報告し東京を引揚げ現地に歸任するにつき諒解を求めた

滿洲國官邊動向注視

日英會談の日本側現地代表武藤少將は英國側の會談再開遷延策に業をにやし、十日遂に東京引揚げを決意し、陸外兩當局の諒解を求めると共に英國側に通告したが、滿洲國官邊筋では老獪なる英國の不誠意極まる遷延策によつて日本現地代表武藤少將が已むを得ず東京を引揚げざるを得ざる情勢に立至つたものであるとなし、微妙なる動きを見せて來た日英會談を重大視し英國側の動向を注視してゐる

賀屋氏總裁受諾

【東京國通】元藏相賀屋興宣氏は十日午前十一時首相官邸に平沼首相を訪問正式に北支開發會社總裁就任受諾の旨回答、同十分辭去した

北支民衆蹶起か
汪精衛放送の反響

【北京十日發國通】汪の廣東よりの和平放送は北支要人、民衆間に多大の感銘を與へた特に汪が身命を抛つて南支の中心地に乘込み和平工作に奔走、日本側最高當局との諒解成り、南支における新生中國の主權回復が公正なる和平の實踐により全く可能である旨自信をもつて天下に公約したことは智識階級の胸の奧を深く衝き、汪精衛に協力して新中國の建設に邁進せんとする氣運を頓みに濃化せしむるに至つた、既に民間有力團體間には汪の呼びかけに響應し、近く積極的に態度を闡明、代表を派遣して汪派の要人と會見し時局收拾新中國の政治的方策について協議を遂げんとする意向が看取せられ、汪精衛の投じた和平の氣運が北支においても力強い底流となつて勢力を逐日增大しつゝあることは注目されてゐる

前線將士に影響

【香港十日發國通】九日夜廣東における汪精衛の和平演説は蔣政權の焦土抗戰に疑問を抱く廣東實力派並びに打續く敗戰によつて漸く厭戰的になつてゐる支那軍前線將士に深刻な影響を與へたが、殊に汪がその演説において日本軍と地方實力者との局部的停戰が可能であることを示唆したことは、いよ〳〵蔣政權の遠心的抵抗を增大するものとして注目を惹いてゐる、これに對し蔣政府では最近の最高國防委員會議決議並びに戰地黨政委員會の決定の線に沿つて強硬抗戰の擬裝に躍起となると共に新政權運動の切崩しにあらゆる努力を拂ふものとみられるが、西南民衆並びに海外華僑の反戰主和機運は蔣政權の切崩しにも拘らず汪の演説を契機に一層拍車をかける形勢にあり、西南各地における抗戰派と和平派との軋轢はいよ〳〵熾烈化するものと豫想される

南洋華僑に感銘

【シンガポール十日發國通】九日夜廣東における汪精衛のラヂオ放送はシンガポールでは地方時間午後六時二十分から極めて明瞭に聽取された、汪精衛の落着き拂つた一語一句然もその中に藏する燃ゆるが如き憂國の熱意が多數の南洋華僑に多大の感銘を與へたことは明白で汪精衛の感化乃至その主張への共鳴による今後の南洋華僑の動向は極めて注目される

日米離間をデマる
外國通信員嚴重警戒

【東京國通】重慶政府の宣傳に乘ぜられた外國通信員等が最近又も極めて惡質なるデマ宣傳を行つてゐる、即ち過般占領地域たる岳州において米人排斥運動が熾烈に行はれてゐると報道せるものあり、よつて日本關係筋においては出先當局に命じ詳細に現地調査を爲したところ右報道は全く事實無根なることが判明した斯くの如き逆宣傳の報道は嚢に開封、石家荘でも傳へられたが、これらは何れも一連系統をひく重慶政府の息がかゝつた外人記者の報ずるものであつて惡意による日米離間策を企てゝゐるものであり、わが方としてはかゝる虚報に乘ぜられることなきやう出先當局においてもこの種惡意のデマ報道を爲すものに嚴重警戒を加へると共に中外に對し正確なる認識を與ふるやう努めてゐる

定例參議會

【東京國通】十日の定例參議會は午前十時より首相官邸に開かれ、松岡兩參議を除く各參議出席、當面の諸問題に關し意見の交換を遂げた後同十一時二十分平沼首相の出席を求め對歐策問題の經過、東京日英會談の經過、その他當面の重要問題に關し政府の方針を質すと共に種々懇談、各參議より首相を鞭撻午後零時三十分散會した

香港法幣引續き暴落一途

【香港十日發國通】當地法幣相場は引續き慘落の一途を辿つており、十日午前は最低香港弗二十弗八と言ふ空前の安値を現出した、これに狼狽した重慶政府側は法幣建前直しに躍起となつており財政部次長徐湛を重慶から香港に急派し法幣暴落問題につき關係各方面と對策折衝を行はしめるが、十日立報の報ずるところによれば重慶政府は近く法幣強化、爲替安定辦法を公布し法幣の慘落阻止を圖ると言はれる、而し乍ら法幣の暴落は開港の喪失による輸出の極度の困難化と英國の對蔣援助消極化等經濟的、政治的な弱材料によつて招來されたもので技術的辦法によつてこの趨勢を挽回することは絕對に不可能であらうと見られる、支那人金融家の間でも法幣の前途に對しては全く悲觀的觀測が支配してゐる狀態である

英抗議一蹴
華人暴動事件

【天津十日發國通】天津特三區英商和記洋行に對する華人民衆の暴動事件に關し八日書面をもつてジエミーソン英總領事よりわが方に抗議し來つたに對し、わが總領事館當局は一應の實狀調査完了したので十日書面をもつて田代總領事より大要左の如き回答を發しこれを一蹴した

特三區における今回の暴動事件は結局華人民衆の反英的感情の發露であつてイギリスが北支に對する認識を根本的に改めることによつて容易に解決するであらうわが方は本事件に對して何等關知するところでない、從つてわが方に對する抗議も全く見當違ひと言はざるを得ない、但し同地區におけるイギリス居留民並びに商社の保護に對してはあへて勞を惜むものでない

米、重慶政府 銀購入契約

【ワシントン八日發國通】米國財務當局は最近重慶政府との間に約六百萬オンス（約二百萬ドル）の銀購入契約を締結した旨八日確認した、なほ右購入契約は約一ケ月前に成立したもので現物はロンドン經由目下米國に向け輸送中と言はれるが、財務當局では右は米國の發意によるものではなく銀買入協定による既定のプログラムに過ぎないと辯明してゐる

【東京國通】米支間の六百萬オンス銀賣買交渉成立に關してわが爲替當局筋では右は金額の上から言つても法幣慘落の補強策とはならず、只米國の國内政策として銀政策の維持對外政策として對日牽制の一ゼスチアーとも見られるが何れにしても問題にならないとしてゐる

受註證明より進んで發註證明制度開始
滿洲國計畫經濟一步前進

滿洲國より日本内地のメーカーに發註する機械類は日本内地のメーカーより商工省を通じ産業部に屆出でたものに對し産業部で物動計畫で決定した素材の範圍内で受註證明を行ひ素材の配給を行つてゐたが、この方法によると全品目に亘つて計畫性が遲れ、又はチエツクされる場合が多く、註文に當つて需要者の意思よりもメーカの意思がより以上に加はる場合が多くなる等種々の不便が生じてゐた、産業部ではこれ等の弊害を是正し全般に亘つて計畫性を強化し素材を最も有效に利用し日本の製作能力をより能率的ならしめると同時に需要者の意思を強く働かしめるため從來の受註證明を發註證明に改め機械類の發註に當つてはメーカーの受註に先立ち需要者の申請に對し産業部で發註證明を與へたものゝ資材の配給をなすことになり近く産業部より同布告を發することになつた、同布告の適用を受けるものは七月一日以降左の資材の配給を要するものである

一、銑鐵、二、普通鋼材、三、特殊鋼、四、鑄鋼、五、銅、六、鉛、七、亞鉛、八、錫、九、アンチモニー、一〇、アルミニユーム、一一、マグネシユーム、一二、石綿、一三、皮革、一四、ゴム、一五、棉花、一六、マニラ麻

なほ皮革機械の附屬品としての皮革を要するものであつてハンドバツグ等の皮製品は勿論含まれてゐない、又銑鐵若くは普通鋼材を素材とする製品に對して發註證明をなすものは原則として左記の製品である

一、蒸汽罐、二、ガス發生裝置、三、蒸汽機關、四、蒸汽タービン、五、内燃機關、六、水車、七、電氣機器、八、通信機器、九、農業用機器、一〇、土木建築用機器、一一、鑛山用機器（鑛山用ボールを含む）、一二、製鐵機器、一三、工作機械、一四、製材木工機械、一五、化學工業用機器、一六、窯業機械（硝子耐火煉瓦製造用）一七、食料品製造機械、一八、製革機械、一九、昇降機、二〇、輸送機（起重機コンベヤ）、二一、ポンプ、二二、壓力機器（送風器、排風器、氣體壓縮機、水壓機）二三、試驗檢定及び學術用機器、二四、醫療機械、二五、機關車、客車、及び貨車、電車（何れも産業用）二六、木造船、二七、ワイヤーロープ

全聯幹事會

康德六年度全聯處理第四部幹事會（農林、水畜、拓植及び鑛工關係）は十日午後二時より協和會中央本部會議室において開催、開拓總局平川總務科長、産業部鈴木技佐（代理）林野局木村監査科長、經濟部山田參事官。交通部和氣事務官、鑛業開發野口庶務科長、特産中央會今城調査科長、滿炭石田文書課長ならびに中央本部側より熱田、朱兩主任出席の下に

一、棉花統制法改正に關する件（錦州、奉天）
一、現地林業法改正に關する件（通化、三江、間島、吉林）

をそれぞれ上程、審議の結果何れも完全解決と決定引續き

一、鑛業權、特許ならびに租鑛權設定簡易化に關する件（奉天）

を審議、本件については康德二年勅令第九十一號の改正、鑛業法第九條の規定に基く勅令による出願を制限せられたる鑛物の發見申出に關する件の制定ならびに鑛業監督署の廢止に伴ひ滿洲鑛業開發株式會社理事長に對して鑛業行政事務を委任したこと等は何れも鑛業行政事務の簡捷化と重要鑛物資源の開發促進を主眼とせるものであつて、これにより鑛業權の設定手續きは從來に比し相當簡易化され、その結果租鑛權の設定も迅速に爲し得るものとして解決と決定、斯くて同五時四十分散會

人事往來

▲岡久雄氏（建材商）十日來京大都ホテル ▲設樂定三氏（福昌公司）同 ▲松岡守一氏（林木商）同 ▲稻村峰一氏（同）同 ▲岩間啓太郎氏（同）同 ▲後藤善也氏（會社員）同 ▲村瀨文雄氏（奉天造兵廠理事長）同

個語

支那事變のため暫時鳴りを沈めてゐた議會問題がまた再燃し久原政友會總裁は國民協議會なるものを提唱してゐる▼その案は同氏が豫てより抱懷せる一國一黨論の變形せるもの若くは具體化せるもので▼擧國一體たらしめんとする精神はよければ組織がこれでよいのかどうか▼この機關を法律及び主要なる國家施設の立案並に施行に參劃せしめんとするものなれば▼帝國憲法に定められたる議會以外に一つの議會をつくることになるがこれでは穩當の案とは云へまい▼帝國憲法に定められたる議會以外の議會をつくるといふことは帝國憲法の精神に背くものに非るか▼憲法上支障なしとしても憲法上の議會と久原氏のつくらんとする議會と意見を異にする場合は如何にすべきか▼かく檢討を加へるとき久原案なるものは、なほ幾多の論議の餘地が殘されてゐるやうに思はれる▼折角憶るものなら今少しく眞劍に今少しく深く掘り下げて根本から練り直す要があるやうだ

社説　英國への警告

[illegible]やうな態度に出るかも知れぬといふことはかねて豫期せられないことではなかつた。果然この豫想通りに英國側は斯うした態度に出て來たのであるが、これによつて考へると英國がいはゆる在支權益といふものについて牢固たる保持に努めようといふ考へを持つてゐることが知られるのである。それとともに英國の新しい東亞の實情に對する認識といふものが著しく缺如してゐて改められるに至つてゐないことが察知されるのである。

斯くてはさきの一般的原則の承認なるものもただ口先きだけの言ひ分であつて、眞實にその新しい對東亞態度を確立したものであるとは言へなくなるのである。このやうなのが英國外交の常套的なやり方であるとすれば、それは甚だ老獪であると評せられても致し方がないのであつて、われらは英國のためにこれを甚だ遺憾であるとせざるを得ないのである。

ひとり英國と言はず、列國の在支權益一般といふものがもはや昔日のまゝの狀態に存置されることを許されなくなつてゐることは、われらが屢々本欄に於いても指摘したところであつた。われらは聰明なる英國の如き夙にこの實狀を察して居り新事態に善處すべく努めてゐることと觀察してゐたのであるが、近時の諸消息を見ると英國の認識是正の如何に甚だ疑惑を持たざるを得なくなつて來たのである。日英東京會談の行き詰りが[illegible]一にこの事實を證據立ててゐると言ふことが出來るであらう。思ふに、若し英國の態度にして改められないならば、今次の東京會談が決裂するに至らうともそれはやむを得ないところであらう。そしてそのために英國側が今後支那に於いて或ひはいかなる不便を蒙ることがあらうとも、その不便は英國が自ら招いたものとしてその責は英國が負ふべきことは自明の理であらう。われ／＼は必ずしも英國とぜひにも妥結せんとするものではない。東京會談を開くに至つたのは、專ら英國側の將來のために考へたからであつたのである。英國にしてこれを欲しないならばすなはちやむ。ただわれらは今最大の好意を以て英國に警告を與へんとするものである。

“中國軍隊民衆と共に和平反共に邁進せよ”

―汪精衛廣東より愛國の熱辯―

【[illegible]發國通】九日午後[illegible]（東京時間午後十一時）[illegible]送局より汪精衛の[illegible]の如し

同胞諸君

余は今廣東において諸君と相對し[illegible]感激と興[illegible]るものである[illegible]

[illegible]達は余は被占領地域にありて自由を失つてゐるに違ひないと言つたものである、余はこゝに諸君に告げる、余は昨年十二月和平に對する建議を發表したのち一歩もハノイを離れず偏へに蔣介石が國家民族のために余の建議を受け容れられんことを希望したのであつた、然るに待つこと[illegible]ヶ月この希望も全く徒勞なことを覺へたのである

然れども國家民族を救ふことは一日もゆるがせにすべからざるをもつてこゝに初めて和平のために奔走することを開始したのである、奔走するに當つてその行先を一々藍衣社に通和する義務もないから自然その行動は祕密となるであらう

こゝにおいて余の問はんとするところは自分は何故に被占領地域に赴いてはいけないのかといふ點である、抑々戰爭の際に一個の人間として住み得るところは要するに前線か後方か被占領地域かまたは外國かの何れかに過ぎない、かゝる場所にゐるからとて自分は何等その人を卑むといふ氣持はない、結局はその人の目的とその人の言論、行動とが問題なのである、前線および後方における民衆は如何なる氣持を抱いてゐるであらうか蔣介石および共產黨の壓迫の下においては和平を說くものは漢奸なりといはれるので和平を望む民衆は口を緘して云ふこと能はず、蔣介石もために自由に引廻されてゐるのである

われわれは

この實情に想到するとき凡有る方法を講じてこれら前線および後方における民衆を救はねばならぬと思ふ

被占領地域における民衆の氣持は前線および後方の民衆と同じであらう、氣持ばかりでなく身體も繋つてゐるのであるから所謂生きるときは共に生き、死するときは共に死ぬわけである、若し和平の望みなく皆と一緒に死ぬといふなら何も云ふことはない、若し和平の望みあり和平の條件は國家の獨立自由を妨げないならば當然和平を叫び且つ熱烈に和平實現の方法を追究すべきであることは云ふまでもない「民衆を犧牲の焦土政策」の廣東の狀況は如何、昨年十月まで民衆は當局から日本の軍隊は斷じて來ることはないとの氣休めの文句を聞かされてゐた、いよいよ日本軍が來るとなると當局は軍隊を連れてさきに逃げ出し民衆を置去りにして顧みず、然もその逃げる際には更に火を放つて民家商店を燒き拂つたのである廣東の民衆が前線、後方において身に受けた苦痛はかくの如く慘憺たるものであつた、しかも生殘り燒殘つたものに對して當局は何故死なゝかつたか何故燒けなかつたかといはぬばかりに絕えず土匪を使嗾して遊擊の名義を用ひ放火、掠奪の工作を續けてゐるのである當局は何故かくの如きことをなすのであらうか、それは蔣介石が命令するからである

蔣介石は

何故かくの如きことをなすのであらうか、それは共產黨の信條を奉じてゐるからである、然らば問ふ、これ等の犧牲によつて如何なる代償が得られたか考へても見よ、かくの如き放火によつて人民を殺し人民の生命を托する財產を燒失せしめたほかに如何なる利益があつたか、廣東市を燒いただけならしかたもないが、武漢でも逃げるときには同じやうな命令を出して全部燒拂ふ心算であつた、命令を受けたものがこれを實行するに忍びずそのために徹底的に燒けなかつたが、長沙こそはと言ふので未だ占領もせられざるに一物も殘さず、徹底的に燒拂つてしまつた、將來は重慶も成都も凡て同じ運命を辿り結局全國を擧げて瓦礫と化し、灰燼の巷となさずんばやまないであらう、和平の望みが無いならかくして全部死滅することも又やむを得ないしかしながら若し和平の希望あり、和平の條件が國家の獨立と自由に妨げないなら何故民衆を驅つて飽くまで死絕の途を辿る必要があらうか、かゝる叫びは前線および後方の民衆は口を緘せられて發することが出來ないが、被占領地域における民は既にかゝる叫びを上げてゐるのだ

自分は何

のために被占領地域に足を踏み入れたかと言へば、この悲痛なる叫聲に誘はれたからである要はこの叫聲と前線および後方の口を緘せられて發し得ない叫聲とを一緒に結びつけてやらねばならぬと思ふ

次に余の問はんとするところは何故自分が被占領地域に入れば直ちに自由を失ふと斷ずるのかと云ふ點である、現在日本が少しも余の自由を失ふようなことはしてゐないことは云ふまでもないが、自分が既に決心してこの地を踏む以上三軍の帥奪ふべし匹夫の志奪ふべからずの理屈位知らぬ筈はない、自分は何時でもわが聲明をもつて同胞の聲明に代へわが自由をもつて同胞の自由に代へんことを覺悟してゐるのである

以上をもつて余の言はんと欲する所を說き終つたが、然らば如何にして和平を實現すべきか、今こゝにそれを語るであらう

即ち蔣介石が彼自身よりも國家民族を重しとなし孫文先生の大亞細亞主義の遺敎を奉じ日本の和平に關する聲明を接受さへすれば全國の停戰は立所に實現し、ついで和平の談判は開始せられるのである、和平の談判において善隣友好、協同防共、經濟合作等各種の問題を協議しその原則に基いて具體的條件を適當に折衝して定むるならば全國々民の渴望する撤兵問題もかならず解決出來るのである、何と極めて簡單なことではないか、併し乍ら蔣介石は彼一個人の利益を顧みること、國家民族の利益を顧みざるより遙かに大であつて寧ろ國家民族の利益を第三インターナショナルの指揮下にある共產黨に獻上して西安事變において助けられた彼一個人の報酬に代へようとしてゐるのである、故に明々白々に望みあるに拘らず彼は敢然として一切を顧みず反對を續け、かくして和平の實現に一大障碍を與へてゐるのである

しかしながら

此の一大障碍を除くにはこゝに方法がある、その方法たるや決してむづかしいものではなく實際は極めて簡單である、即ち前線及び後方において行政當局および軍隊を率ゐてゐるものが和平の望みあることを覺り、且つこの和平が國家の獨立と自由に何等妨げないものであることを認識して蔣介石の欺瞞宣傳を粉碎し蔣介石の壓迫から脫出し第一歩として公開的な和平に贊成し自己の力の及ぶ範圍に於て共產黨の一切の陰謀と罪惡を肅淸し地方の治安を維持し人民の生命、自由、財產の安全を保護し、第二歩として和平贊成者聯合して公開的に蔣介石に對し、國家民族を重んじてこれ以上和平の妨害をなさゞることを要求することである

かくすれば和平の實現は短期間内に必ず全國に行渡るであらう、和平の實現によつて獨立と自由を得て共同生存、共同發達の基礎は定まり中國の復興も東亞の復興も必ず是により始まるであらう、或はかういふ疑問を提出する人があるかも知れない、即ち「假にわれ／＼がかゝる表示をした場合に日本軍が依然攻擊し來るにおいては和平は水泡に歸するにあらずや」これに對し余は鄭重に且つ明白に回答しやう、若し前線および後方の行政當局および軍隊の統率者が和平贊成の表示をなし反共の表示をなせば、日本軍は決してこれを攻擊することはないと、何んとなれば、日本政府はさきに既に「中國に同憂具眼の士あり出でて時局を收拾し、進んで東亞復興の責任を分擔せんことを望む」との聲明を出してゐるのである

現に自分は廣東において安藤南支最高指揮官と會見し、和平實現の方法に關し互に誠意を披瀝して語りたる結果自分は若し廣東方面の中國軍隊が和平反共の表示をなすならば安藤南支最高指揮官は必ず極めて有效的に以下數項の實現方を考慮するものと確信するに至つた、即ち日本軍は直ちにこれ等の軍隊に對して立所に攻擊を停止するのみならず更に進んで日本軍の既に占領せる地域における治安警備および行政、經濟を日本軍の手より逐次これを中國に移讓することこれである、故に若し廣東方面の行政當局と軍隊とが余の和平の主張に贊成するならば自分は必ず安藤南支最高指揮官の同意を得、まづ廣東において局部的停戰を實行し得るものであることを今日敢て玆に公約して憚らないのである

かくしてこの方式をもつて漸次これを全國に及ぼすならば全國の和平は完全に回復するであらう、特に廣東市の市民に對して敢て告ぐ

吾々には

かくして最短期間に必らず廣東市を廣東市民の手に返し、昨年十月以前よりも遙に秩序ある一層幸福なる樂土たらしむることが出來ることを

同胞諸君　諸君はこの放送を聞かれて余の所謂和平は實現すべし、しかして和平の條件は國家の獨立と自由に妨げないといふことが決して空想ではなく、早晚證明さるべき事實であることを諒解されたであらう、同胞諸君、諸君は被占領地域の民衆ではないが、諸君はこれまで前線においての、又後方においての責任を負ひ、幾多の苦痛と犧牲とを忍んで來たのである、蔣介石が諸君を見捨てた後は更に諸君に種々の汚名を加へ諸君が生殘り燒殘つたのを憎くんで飽くまでも飽くまでもこれを燒きつくし、飽くまで死の途に立たしめんとしてゐるのである、蔣介石は日本をもつて敵とせず中國をもつて敵となし、中國と民衆を敵としてゐる、今日蔣介石こそは和平に對する唯一の妨害者である、諸君はこの妨害者を除くことによつて必然的に種々の汚名を洗ひ去り、新たに中國復興の柱石となり、進んで東亞復興の柱石となることが出來るのである、同胞諸君自分がこの放送をした後、蔣介石は必らず各前線および後方の行政當局および軍隊の統率者を强制して連名の通電を發せしめ余を攻擊するに違ひないと思ふ、しかしながらそれは無效である、和平の條件が國家の獨立と自由に害なき限り、且つそれが復興の基礎となる限り何人と雖も和平の實現を阻むことの出來ないことは余の信じて疑はないところである

國幣と聯銀券の交換を實施

聯銀券の積極的流通を圖る

【北京九日發國通】滿洲國の爲替管理法强化以來滿洲國幣の北支流入防止のため種々適切なる手段がとられてゐるが滿洲國と北支との陸路交通の關門山海關驛において去る一日以降滿洲中央銀行側も中國聯合準備銀行に協力し滿洲國幣と聯銀券の交換を實施、滿洲國幣の北支流入防止につとめてゐる、なほ北支より滿洲國行き旅客に對する聯銀券を滿洲國幣、日銀券、鮮銀券に引換へるに當つては一口二百圓を限度としてゐる、また中國聯銀券の積極的流通を圖るため七月廿四日芝罘埠頭に交換所、龍口埠頭に臨時交換所を設置し日銀券、鮮銀券、滿洲國幣等の聯銀券への交換に當つてゐる

痛憤！璦琿事件

―歷史は繰り返すこの慘虐―（中）

加藤勘二

世紀の暴虐アムール流血の慘

璦琿條約によつて新に黑龍江左岸の廣大な地域を淸國より奪つたロシアは、軍事都市ブラゴエシチエンスクを中心に商業、開拓兩方面の基礎確立を企圖し、條約にある如く「ゼーヤ河より南方ホルモルヂンに至る黑龍江左岸」に居住しつゝあつた滿洲人に對して農產業の保護を獎勵する一方、當時ウラジホに於ける漢族中の最大の開拓事業成功者であつた山東人王治興に對しブラゴエシチエンスク及び其附近一帶の優先的開拓の特權を附與して商都黑河の建設に當らしめたが、王は此のロシア側要請の裏面に四十年後に惹起された一大虐殺の魔手が秘められてあらうことを等知る由もなく、自らブラゴエシチエンスクに乘り込んで多數の同鄕山東農民を招き、ゼーヤ河以東の地域に淸國人農村を次ぎ次ぎに開設し、遂に村落の數が六十四け村となり位置がゼーヤ以東にあつたので俗に「江東六十四屯」と呼ばれたのである、六十四ケ村の淸國人農村は自らの農業開發に精進した結果、ロシア側の軍都ブラゴエシチエンスクも亦飛躍的發展の緖についたのみならず、これ等の勤勉な山東農民は無能なロシア移民に對する善き指導者でもあつたのである、かくして開發された多數農村を唯一の食糧資源として黑河は黑龍江の南北に亘る商都となり、淸朝、同治八年（紀元二五二九年）には人口三千三百四十四人に達したのである、現在の黑河の一部であつて黑河の中でも江南と稱せられたところに當つてゐる、然るに爾來アムール流域地方＝特にブラゴエシチエンスクを中心とした南方のロシア移民の增加は逐年其數を倍加し遂に六十四ケ村の山東農業移民を遙かに凌駕し璦琿條約によつて定められたところの、ゼーヤ河より南方ホルモルヂン村に至る黑龍江左岸に居住する滿洲政府統治上の農民に對し、極端なる重壓を加へ、光緖二十年露國東部シベリア總督ヅホーウスキーの名をもつて後貝加爾州境より沿海州境に至る間の黑龍江北岸、幅四十露里乃至百露里の地帶は黑龍コザック軍の臨時用地に充當すと云ふ暴令を布告し、さらに六ケ年後光緖二十六年勃發した義和團事件に乘じて、ブラゴエに在つた露國陸軍中將グリブスキーは軍隊を動員して黑龍江沿岸の滿洲領土を悉く占領し、都邑を破壞或は燒拂つてこれを焦土と化せしめた上尙飽き足らず、財貨を掠奪し婦女を陵辱するの暴戾を敢へてし、江東六十四ケ屯の無辜の漢族農民五千人及び黑龍江上流漢河縣產金地帶の砂金工夫三百餘を捕へてことごとく虐殺、殘虐の限りをつくしたのである黑龍江の水が五千餘の生靈を呑んで紅色に變じ、死屍累果として同江を流下した情景は想ひやるだに戰慄と悲憤の念を覺えしめるではないか、その凄慘なる情景を詩人土井晚翠は次の如く敍してゐる。

大江流れて四千露里
水は長く空の影廣ぐ
雲烟迷ふ西比利亞の
南を遠く湧きて
末韃靼の海に入る
黑龍の流れ萬古の波
記せよ西曆一千九百年
汝の水は墓なりき
五千の生靈罪なくて
こゝに幽冥の鬼となりぬ

興銀第五回總會（富田總裁演說）（上）

滿洲興業銀行第五回通常株主總會は十日午前十時同行總裁室において開催富田總裁は左の如き演說を行つた

×　×　×

支那事變勃發以來滿二年餘を經過し、既に世界戰史上未曾有の偉大なる戰果を收めつゝありますことは玆に申すまでもなく、此の間廣大なる戰局地域內には臨時、維新、蒙疆の三政府を始め各地共產黨刺たる新政權、新勢力の誕生を見、又漸次新中央成立が期待さるる情勢に至りましたことは誠に慶賀に堪えぬ次第であります。而して一方之等地域內に於ける諸經濟建設も着々として進捗し、日滿支一體經濟の態勢は三國の緊密なる連絡提携に依つて漸次具體化の步を進めつつありますが、過般三國政府の支持に依り東京に於て東亞經濟懇談會の創立を見ましたことは右具現へ更に一步を進めたものでありまして、東亞の綜合經濟力の增强に對し寄與する處極めて大なるものあることを信じます

×　×　×

此の間に在つて我が國に於ては產業の開發、貿易の伸暢等國內經濟力の充實發展は眞に躍進の勢を示して居るのでありますが、本年に入つて特に注目すべきは新に北邊振興計畫が公表せられ、產業開發五箇年計畫、開拓政策と共に我が三大國策として昂揚せらるるに至つたことであります即ち產業開發五箇年計畫は本年を以て實施第三年度に入りましたから、昨年度までの實績は時局下諸種の困難を排除して所期の好績を收め、今後益々其の成果を期待せられつつあり、開拓政策は過般東京に於ける滿洲開拓日滿懇談會に於て日滿兩國を通ずる基本大綱の決定を見、明年度より日滿兩國に於て開拓諸施策の積極化を行はんとするに至つて居ります。而して北邊に於ける計畫は我が北邊に於ける國防力の强化を主眼とする行政、產業、交通、通信其の他廣汎に亘る建設計畫でありまして本年を第一年度とする三箇年計畫を以て之を遂行せんとするものであります。既に本計畫の一部たる東安、北安兩省の新設並に縣の新設、改廢其の他諸建設亦漸次着手を見つゝあるのであります。本計畫の資金は約十億圓と豫定せられ、其の分擔內譯は政府二億圓、滿鐵六億圓、特殊會社二億圓となつて居りますが、既に政府に於ては去る五月北邊振興特別會計及一般會計の追加豫算を公布し本年度の支出に備ふると共に、本事業資金の財源たらしむべく北邊振興事業公債法を公布し、二億圓を限度として所要に應じ漸次公債を發行することになつて居るのであります。

×　×　×

敍上の情勢下に於ける我が一般經濟界の推移に就て左に概說致します。

昨年度に於ける全國主要農產物收穫高は前年度分に比し總量に於て九%の增收を示しました。本年度の收穫高豫想は未だ公表になりませぬが、大體の見通しとしては耕作面積の擴大に依り昨年度收穫に比し平均一割以上の增收と豫想されて居ります。最近勞力、農具、肥料等の需給不圓滑が傳へられて居るにも拘らず、耕作面積の增大を示して居りますことは農產物增產計畫の積極的遂行の結果でありまして、大豆の自然增收の外特に高粱、玉蜀黍の如き相當高率の增收を見越されて居りますことは意を强うするものであります。

當季中に於ける我が外國貿易は益々好況を示しまして輸出額四億八千九百萬圓輸入額七億五千四百萬圓に達して、差引き二億六千四百萬圓の輸入超過であります。之を前年同期分に比較しますと輸出は八千五百萬圓、輸入は一億九千六百萬圓の各增加でありまして、輸出入共益々旺盛でありますが、特に輸入に於て激增を示して居ります。近年に於ける我が外國貿易の特徵は入超の累進的增加であり、當季は益々其の勢を强めて居るのでありますが、之は我が產業開發所要資材の輸入增加が主因を爲して居るのでありまして、之を以て直ちに國際收支の惡化として悲觀すべきではないのであります。即ち之等建設資材の輸入增加は一方に於て生產力擴充の進展を意味するものでありまして戰時經濟充足上不可缺のものでありますことは勿論、進んでは將來の國際收支の改善に寄與する結果となるものであります。但し他面に於ては今後益々增加すべき中等資材の輸入を確保する爲、輸出の振興を圖る必要のあることは勿論でありまして、斯くて產業の開發と貿易の伸張と兩々相俟つて國力の發展を齎す所以と相成るのであります

當季中に於ける輸出入額の增加は對日、對支即ち圓ブロツク間に於て增加して居るのでありまして、對第三國に於ては輸出入共減少して居ります。即ち當季中に於ける對日貿易は輸出二億九千百萬圓、輸入六億一千百萬圓、入超三億一千六百萬圓でありまして、前年同期分に比し輸出は五千七百萬圓輸入は一億八千七百萬圓を各增加し、輸入增加總額の大部分は對日輸入に依つて占めて居るのであります。次に對支貿易は輸出九千四百萬圓、輸入三千四百萬圓、出超六千萬圓でありまして、前年同期分に比し輸出は三千百萬圓、輸入は一千七百萬圓を夫々增加して居り、各地治安の回復と經濟の復興とを明示するものであります。又對第三國貿易は輸出一億圓、輸入一億八百萬圓、入超八百萬圓でありまして、前年同期分に比し輸出は四百萬圓、輸入は七百萬圓の各減少となつて居ります。此の間に在つて協定貿易たる對獨、對伊は輸出入共躍進的增加を示して居ります。第三國向輸出の振興に就ては現下の國際情勢に於て種々の困難を伴ふことを免れませぬが政府に於ても各種對策を實施して居り、官民一致之が打開疏通に努力せねばならぬものと考へます。

×　×　×

次に物價の趨勢を觀まするに昨年下半季中大體安定の狀態にありました全滿物價は本年初來俄に騰勢に轉じ、爾來累月續騰の情勢にあります。即ち康德四年平均を基準とする全滿卸賣物價は昨年十二月一二三、八の處本年一月一二九、〇となり、六月一五〇、五を示し、漸次强調を辿つて建國以來の最高位を示したのであります。此の昂騰の主流を爲すものは大豆三品を始め一般穀類でありまして、之に速つて綿糸布を始め衣料及同原料品、其の他食料品等一律に昂騰して居るのであります大豆三品及穀類の暴騰は種々の原因がありますが、當季中圓ブロツク向特に對支輸出の激增に刺戟されたことも其の一因であります。此の點に就ては政府は四月以來大豆、豆粒及豆油に對し夫々對支輸出の禁止的制限を行ひ、又麻袋對策、金融對策等諸種の抑制策を行つて居りますが、其の後大勢は依然强調を續けて居るのであります。之等特產物の價格騰貴は他物價昂騰の誘因となるのみならず、大豆自體の第三國向輸出にも大いに暗影を投ずるものでありますので、政府は從來自由でありました之等第三國向特產物に對しても輸出統制を行ふことに決し、五月下旬貿易統制法に基く輸出制限品目中に大豆、落花生、荏胡麻子並に之等を原料とする製油類を追加し、價格の適正を期すると共に輸出の振興を圖ることとなつたのであります。又綿絲布類に對しては三月下旬原棉綿製品統制法を公布し、同時に綿糸布の配給の最高價格を公定し、配給の圓滑と價格の適正とを期することとなり、其の他昨年より實施せられつつある鐵鋼類、木材等に對しても或は統制組合を設立、或は公定價格の設定等に依り、需給の圓滑及價格の適正を圖りつつありますが高物價の抑制は啻に法規或は制度の改善のみを以て目的を達し得ぬのでありまして、結局は消費の節約と業者の自制等國民一般の協力に俟つの外はないのであります。

關係二當局で

滿鐵增資審査委員會を設置

【東京國通】滿鐵增資案を携へて五日東上した佐々木同社副總裁は對滿事務局、大藏省等との間に非公式折衝を開始し政府當局の意向打診に努めつゝあり九日大野大藏次官と打合せの結果、來る十三、四日頃大藏省當局に增資案の具體的內容を正式說明することゝなつたが、更にこれに先立ち十日午後二時石渡藏相と會見一應の說明をなし諒解を求める筈である、而して滿鐵當局の抱懷する增資案は何分にもその金額が巨額にして且つこれが具體化の場合は財界に及ぼす影響も相當大なるところから政府當局においても資金物資兩側面よりその審議に極めて愼重なる態度を持してをり目下視察中の日下部滿鐵管理官（對滿事務局殖產課長）が來る十三日歸京するのを待つて關係當局たる大藏省、對滿事務局ならびに企畫院の三當局をもつて滿鐵增資審査に關する委員會を設け政府の方針を決定することゝなるものとみられる、大藏當局としては增資の際における政府出資の國庫財政計畫に對する影響と民間株主の增資拂込能力等を併せ考慮して滿鐵の原案たる倍額增資案には相當難色を示してゐる模樣であるが、一方對滿事務局ならびに企畫院方面においては增資金額の如何よりも、寧ろ增資に伴ふ所要資材を如何にして充足せしめるかにつきわが物動計畫の圓滑なる遂行を期する上から頗る關心を示してゐる狀態にあり、滿鐵の原案が無修正で中央當局の承認するところとなるか否かは未だ俄に逆睹し難いものがある、なほ佐々木副總裁今回の東上は增資案に關する中央の意向打診が主目的であるため滿鐵原案が容れられざる場合は今月下旬頃一旦歸任し、更に現地側と協議した上急ぎ修正案を作成し九月には再度東上する筈であるが、若し政府が滿鐵原案のまゝ鵜呑みに

承認

するにおいては直ちに佐[illegible]裁ならびに[illegible]經理[illegible]の東上を求めて今月中[illegible]これを正式決定したき[illegible]持してゐる

滿化工協會愈よ創立

滿洲產業五ケ年計畫以外の重[illegible]

[illegible]會館に設立發起[illegible]定款役員等を左[illegible]續いて午後二時[illegible]工業會社八十六[illegible]會員約百名出席[illegible]移り午後三時全[illegible]した、創立總會[illegible]事會を開催し本[illegible]その他當協會の[illegible]する具體案につ[illegible]今後隨時理事會[illegible]工業界の躍進に[illegible]とを申合せた、[illegible]員左の如し

理事長　鈴木（[illegible]）
常務理事　難波（[illegible]）
理事　石川（[illegible]）[illegible]（滿曹）堀（滿[illegible]）[illegible]電業）奧村（[illegible]）（大陸科學院）[illegible]セメント）高[illegible]高谷（鹽業）[illegible]事）堤（合成[illegible]）輕金屬）黑田[illegible]シウム）齋藤[illegible]佐藤（滿鐵研[illegible]）滿鐵）南（滿洲[illegible]）鐵）世良（[illegible]）
幹事　久保田[illegible]竹內（鑛發）

糧穀會社臨時總會

[illegible]同社會議室に[illegible]を開催糧穀會社[illegible]過報告あつて後[illegible]一、支店設置に[illegible]を附議可決した[illegible]設置により準備[illegible]した同社はいよ[illegible]入つたと見るべく[illegible]

大阜銀行創立

【青島八日發國通】[illegible]金融の使命を帶び[illegible]る地方銀行たる大[illegible]日午後二時大禮堂[illegible]立總會を開き正式[illegible]に至つた、資本金[illegible]二分の一拂込み、[illegible]元は中國聯銀より[illegible]立は一般より公募[illegible]みを完了、董事長[illegible]常務董事長[illegible]三名が決定した

廣島縣水稻被害減收廿七萬石

【廣島國通】旱害[illegible]縣水稻被害狀況は[illegible]七萬四千町步のう[illegible]見込四千二百八十[illegible]減收見込み八萬四[illegible]餘石、既挿秧田に[illegible]盡りたるもの二萬[illegible]餘町步、これが減[illegible]九萬一千百八十餘[illegible]を併せた減收合計[illegible]四百五十石に上る

商況（十日後場）

各地株式市況

●大連株式（[illegible]）

[illegible]

協和欄

綱領

滿洲帝國協和會は唯一永久、擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり
一、建國精神を顯揚し
一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し
一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し
以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す

建國の精神（五）

日滿議定書

日本國ハ滿洲國カ其ノ住民ノ意思ニ基キテ自由ニ成立シ獨立ノ一國家ヲ成スニ至リタル事實ヲ確認シタルニ因リ
滿洲國ハ中華民國ノ有スル國際約定ハ滿洲國ニ適用シ得ヘキ限リ之ヲ尊重スヘキコトヲ宣言セルニ因リ
日本國政府及滿洲國政府ハ日滿兩國間ノ善隣ノ關係ヲ永遠ニ鞏固ニシ互ニ其ノ領土權ヲ尊重シ東洋ノ和平ヲ確保センカ爲左ノ如ク協定セリ
一、滿洲國ハ將來日滿兩國間ニ別段ノ約定ヲ締結セサル限リ滿洲國領域內ニ於テ日本國又ハ日本國臣民カ從來ノ日支間ノ條約協定其ノ他ノ取極及公私ノ契約ニ依リ有スル一切ノ權利利益ヲ確認尊重スヘシ
二、日本國及滿洲國ハ締約國ノ一方ノ領土及治安ニ對スル一切ノ脅威ハ同時ニ締約國ノ他方ノ安寧及存立ニ對スル脅威タルノ事實ヲ確認シ兩國共同シテ國家ノ防衞ニ當ルヘキコトヲ約ス之カ爲所要ノ日本國軍ハ滿洲國內ニ駐屯スルモノトス
本議定書ハ署名ノ日ヨリ效力ヲ生スヘシ
本議定書ハ日本文及漢文ヲ以テ各二通ヲ作成ス日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニスルトキハ日本文本文ニ據ルモノトス
右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本議定書ニ署名調印セリ
昭和七年九月十五日即チ大同元年九月十五日新京ニ於テ之ヲ作成ス
昭和七年九月十五日
日本帝國特命全權大使　武藤信義
滿洲國國務總理　鄭孝胥

◇◇協和俱樂部を設置◇◇
撫順縣下の四ケ村に

協和會撫順縣本部に於いては協和俱樂部を縣下主要部落、前甸子、馬郡丹、東社、關老溝の四ケ村に設置、縣下工作の根幹となす豫定で旣に去る六月中旬より前甸子俱樂部の工事に着手一兩日中に基礎工事を終り、續いて馬郡丹俱樂部の工事に着手することゝなつた、而して右工事には部落民、日語學校生徒が勤勞奉仕を爲す外運搬其の他の事に就いては公家村、章黨村、前甸子部落民が自發的に奉仕しつゝあり、又目下協和會工作を實地見學中の中大生宮崎君外二名も工事に參加して居る尚前甸子、馬郡丹の二ケ所は本年中に完成の豫定で東社、關老溝は本年中に基礎工事を完了、來春完成の筈である

義勇奉公隊員活躍

防空令下我れ等の空は我等で護れの聲は全撫順にみなぎりこれに伴ふ防空施設は完璧の誇りをみせてゐるが協和會市本部義勇奉公隊員二百六十一名（日人六十一、滿人二百）は六七日に亘り防空令下の炭都の交通警戒並防空施設檢査等目覺しき働きをなし當局は勿論市民に多大の感銘を與へた

容れるべきは容れ排すべきは排す
協和會で部員派遣　帝國議會見學

世界に類のない協和會組織就中各級聯合協議會は全く獨創的なものでその形式も毎年着々整備充實されつゝありとはいへその實際的な運用に際し未だ幾多の缺陷が發見されるので本年度全聯終了後中央本部では部員を東京に派遣し內地議會の技術的運用方法等を研究せしむることゝなつてゐる、協和會の行き方は議會の多數決を排し、政黨政治の臭みを絶對に容れるものではないが多年の傳統と歷史を有する帝國議會にも議事進行等の技術的方面よりみれば幾多の學ぶべき長所があり、排すべきは排し、容れるべきは容れるといふ協和會の態度は非常な好感をもつて迎へられて居り、聯協今後の運營に大くの發展的素材を提供するものとして注目せられてゐる

職員自體の理論統一を圖る
九月より機關紙を發行

全國に百四十萬の會員を有しこれ等會員を通じて四千萬民衆の上に君臨して指導、教化し國家百般問題を批判處理し民意の暢達を實踐して行くべき多數の協和會々務職員の內にはやゝもすると理論の枝葉末節にとらはれ議論にのみ走り過ぎる傾向が往々にして觀取されるので、協和會會務職員は一般民衆に對しこれが指導教化に當る前に先づ職員自體の意識の統一を圖る必要ありとし、愈よ九月より會員の研究發表機關紙を發行し、最高指導方針に基く理論の整備を行ひ中央地方を通じての明確な指導者意識の統一と徹底に邁進することゝなつた
一、機關紙の目的は職員同志の研究を發表する機關であると同時に中央、地方の親睦、意志の疎通にも効果
一、その他講習會等に依り內外地より一流の學者政治家等をも招聘して職員の自個完成に努める

本年度全聯へ提出議案㊃
拓政業務機關一元化
その他盛り澤山の提案

濱江省

三五、分會活動費調達方法に關する件
三六、各級本部活動費增額に關する件
三七、貯蓄奬勵唱導に關する件
三八、國籍法制定に關する件
三九、戸籍法の制定及實施方に關する件
四〇、木代金の現地不元方法改正に關する件
四一、地籍整理實施に關する件
四二、漢醫許可發給に關する件
四三、牛馬籍法制定促進に關する件
四四、下級官公吏の待遇改善並に綱紀肅正に關する件
四五、教科書配給圓滑化促進に關する件
四六、學校教育と協和會活動との聯繫强化に關する件
四七、鮮系敎育改善方に關する件
四八、註音符號使用に關する件
四九、建國分廟設置に關する件
五〇、阿片痲藥斷禁政策强化に關する件
五一、物價抑制に關する件
五二、小麥粉配給に關する件
五三、農家負債整理に關する件
五四、拓政業務機關一元化に關する件
五五、鮮農開拓政策徹底に關する件
五六、烏河至滿達咀子間並に大通地方堤防修築費補助に關する件
五七、アルカリ土壤地帶開發に關する件
五八、大豆價格の安定に關する件
五九、徴税機關の一元化に關する件
六〇、等級別に依る地税徴收に關する件
六一、牲畜税廢止に關する件
六二、聯銀鞏化に關する件
六三、農村金融機關一元化に關する件
六四、金融合作社長期貸款制實施並小農貸款積極化に關する件
六五、金融會貸付改善に關する件
六六、鐵道開設方に關する件

◇第五四號　拓政業務機關一元化に關する件（五常縣山河街、小山村分會提案）

理由　開拓政策は、我國重大國策の一にして、之が進捗上に關する中央機關は其の內容整備せるものあるも、直接開拓團の所在せる地方現地に於ては、之が指導監督助成合理的に行はれず、現狀を以て放置し置くときは、憂慮すべき事態惹起の虞なしとせず、卽ち之を現狀に付檢討すれば、縣公署拓政股は如何なる範圍に於て之を助力指導すべか明確ならず、單に斡旋的範圍を出でざる程度なり、然るに滿拓より現地派遣員としては、現地事情も詳かにせざる幹部二三を派しあるのみなり、而も之等幹部の中には地方事情の無理解に依り各種の紛爭を惹起すること屢々なり、斯る場合縣は責任官廳として善處せんとするも直接指導監督の權限附與せられ居らざる爲、種々困難を伴ふものあり。斯る實情を諒察の上愼重研究考慮せられ度し

辦法
一、拓政業務機關の一元化を實現せられ度し

大同劇團大いに活躍

滿洲演劇の母胎である大同劇團の結成以來の活躍こそ滿洲演劇の成長を示すものであらう、現在同劇團は關東軍、弘報處電々放送課、新京市公署、治安部、滿鐵から總額年一萬圓の補助金を得て改組後の張切つた運動を續けてゐるが、去る七月二十六日行はれた協和會創立八周年紀念公演迄に日語部、鮮語部滿語部を含めて十數回の公演を持つ一方昨年十月には東方文化協會の招聘にて赴日、名古屋、東京、大阪、横濱に於いて親善公演を行ひ又宣撫慰安を目的とする地方巡演を數次にわたり敢行し、殊に本年一月より二月にかけて東邊討匪行に參加して東邊地方の宣撫工作に多大の成果をあげてゐる、本年度事業豫定としては、新京に於る年四回の公演、大連、奉天、安東哈爾濱に於る年二回の公演北滿各地巡演、滿映と提携映畫製作、日本劇團との全滿共同公演、北支中支方面への滿支親善興行、秋には各地劇團との演劇コンクール等々が企畫されてゐる

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

スポーツマンシップ（井下郁也）

近頃の慚愧に堪へぬものの一つ二つ、六日に開催された大同公園での各大學生拳鬪大會は千に餘る觀衆が押し寄せたこの人達には官吏、軍人、總ゆる職業人がスシ詰の盛觀であつた、中にも官吏であらう堂々と官廳用自動車を乘りつけ傲慢なる態度であつた、此の連中が肉彈相搏ち勝敗を爭ふの時、馬鹿野郎一圓を返せ東京へ還れなどの暴言頻々なり、更に黄色の奇聲が選手がしきりに起り司會者も選主觀衆も眉をひそめてゐたが、更におかまひなしだ、はたしてこれがスポーツマンシップかこんな不逞な輩は斷然將來の爲に退場を命ずべきことを掲示すべきであつた、利益を目的としない催しであり又主催は公平なるものであつたのだ

新京雜感（一讀者）

三省四省する要があらう
一、有料者さへ乘り難いラッシュのバスに急用とも思はれぬ無料〇〇〇處せましと座り込んで居る新京
二、乘用自動車の定員はやかましいがバスには溢れるやうに乘つてもよい新京
三、純滿式家屋ならいくらでも出來るのに體裁や理窟で家を建てない新京
四、代用官舍に居る者では生計上相當な開きがあるが爲政者は氣の付かぬ新京
五、獨身者が四疊半に三人位居て此の暑さではカフエー廻りも已むを得ない新京
六、四疊半に若夫婦と獨身者の同居はどちらも辛い新京
七、內地では樂にしたくもないデパートのサービスの惡い新京
八、馬の改良で人を惡くする競馬熱の高い新京
九、慘殺事件が何回あつても平氣な新京
十、結局此の儘ではいけない新京

━新版『滿洲史』の一項━　小森丈夫
阿部比羅夫と民族協和思想戰（五）

越の國の語源は

偖て、新らしく生れ出づる百貨店の名前は何う云ふたら良いか。之が問題になつたが結局は早稲田大學と慶應義塾大學との野球試合を早慶戰と呼び、東京と横濱との間を疾走する汽車を京濱線と云ふのと同じ趣物で三井呉服店と越後屋呉服店との合流に依つて新しく孤々の聲を上げる百貨店は兩者の名前から一字宛!—即ち、三井呉服店から『三』の字を、越後屋呉服店から『越』の字を引拔いて之を組合はせ、三越百貨店の看板を揭げる事になつた。

花子　ぢや。何故、三越呉服店と呼ばないの。
太郎　其處だよ。僕が詳しく話し度いと思ふたのは。一昔、越後の國をエチゴ、越中の國をエッチユウ、越前の國をエチゼンと呼ぶのは、民族學と緣のない御話である。
花子　太郎さん、一寸と待つて。
太郎　何うしたんだい。
花子　妾は嘘を習ふたのか知ら。ずつと以前に、東京の三越百貨店つてのは、昔、東京に有名な越前屋呉服店越中屋呉服店、越後屋呉服店と云ふ三つの『越』の字が附く呉服店があり、後にそれ等越の字の附く三つの呉服店が合併して、三越百貨店となつたのッて、聞いたわ。之は間違つて居て？
花子さんの質問か本當であるか、將又間違ひであるか、私は三越百貨店に問合はしたと上でないと、正確に之へ回答する事は出來ない。然し彼女が越前、越中、越後と三つ越の字が附く、云云。
と云つた言葉は、之を聞き留めなければなるまいと思ふ。何となれば、其の昔、越前、越中、越前の三つの越の字が附く國は、其處に越族（高志族）が居住したから越の國と呼び、越の國は其後分れて越前、越中、越後の三つの越の國に姿を變へたのであらう。（つゞく）

討匪戰士の記念碑建立

協和會本溪縣本部においては當地元駐屯の柳部隊の勇士が曾て匪賊討伐の際當地を距る約四里大子溝に於て名譽の戰死を遂げし地點に今日迄何等の標識無きを遺憾とし同隊に交渉し現地に記念碑を建設する事となり、當地協和會事務員藤井茂氏は部下を帶同し、尚ほ有馬部隊より兵二名の應援を得て同地に到り裴家堡子屯長其他の協力を得、屯民總動員の勤勞奉仕にて之を建立する事に協議一決し、既に右工事も着手して工事も順調に進捗し近日竣工を見る

家庭

怪談が子供への影響
大人の話は信ずる
恐怖心を抱かすな

夏の宵、縁臺での涼み話に聞いた子供の頃の怪談は、それが恐ろしいものであるほど、大人になつて忘れ難い記憶となりますが、一體かうした恐怖心といふものは、子供にどんな影響を與へるか、厚生省兒童課大羽昇一氏に伺つて見ませう。

○…

愛情と怒りと怖れは人間本性のもつ感情の代表的なものですが、その中でも怖れの感情は非常に早く現れ、一歳か二歳の子供の時からあります。恐怖の種類は複雑極まるものですが、誰にも共通するのは暗闇を恐れる氣持です。これは原始時代の夜に私達の祖先が猛獸に苦しめられ常に生命の危険を感じた事も、一つの原因をなしてゐると思はれますが、恐怖心の中で暗闇を恐れる氣持といふものは、主要な部分を占めてをります。夏の宵の怪談などといふのも、その怪談のもつ凄味を、夜によつて有効に表はすために好んで語られるものですが、所謂怪談なるものが子供にどんな影響を與へるかといふならば、この怪談を恐怖といふ方面から見て五六歳以下の子供には差して影響がありませんそれはこの頃の子供は死んでゐるものが話をしても不思議とは思ひませんし、石や木も人間と同様に話をすると思つてゐるからです、かうした考へ方に矛盾を感じて來るのは十歳以後です。死んだ人は話をしない、幽靈といふものはないといふやうに、或長するに從つて事實として教へこまれますが、子供にとつては自分よりも偉いと思はれる大人が、怪談を信じて話す時には子供自身には嘘と思はれることも、大人の話といふ點で事實として受取られ、それによつてあるものに怖れを抱くといふ事は往々あります、この恐怖心は暗闇によつて増長されます。一人で暗い處へ行けない子供といふものは、暗い處には何かあるか分らぬといふ怖れと今迄自分が周圍から教へこまれた漠然とした恐怖とが一緒になつてくるからです。從つて子供に聞かせる怪談めいたものは無用の恐怖心を抱かせぬやうに、怖いものと怖くないものとをはつきり區別して話さなければなりません、怖くないものを怖がる子供、例へば便所へ一人で行けぬ子供などには、實地の經驗によつて怖くないといふ事を覺らせ狐や狸が化けるといふやうな考へをもつ子供には、物の眞相を知らしめるといふ事が一番大事です。それと並行して恐怖を勇氣によつて克服させる訓練を積まなければなりません

sei

蒼空から雨
ーローマのお話ー

路地を歩いてゐるとポタポタと滴が落ちて來る。家を出た時は降るやうな空ぢやなかつたがとふり仰ぐと洗濯物が、空も見えない位に干してある。これがローマの下町風景です。

▽…△

ファッショ伊太利の主婦はほんとによくお洗濯をします黒いカラーや、煮しめたやうなハンカチは、電車の中にも驛の待合室にもどこにも見られません。

▽…△

洗濯物はこちらの窓から、むかふの窓へ、綱を渡して乾かします。そこは萬事國民協力の國です。向ふ三軒兩隣の親交は實に厚いものです。この干し物の綱が三階、四階、五階、六階と續きます。

▽…△

これだからこそ青い空から道往く人に時ならぬ雨を降らすのです。

海外短信
ソ聯に快速船

【オデッサ發】船體をベークライトを主材とする粘質材で作つた時速五十哩といふ驚異的快速力の客船が出現して各國專門家の注目を惹いてゐるこの快速船はソヴエート政府が黒海沿岸用として專門家廿數名を動員して多年に亘り苦心研究の結果漸く完成したもので總ての點で現代造船技術に大革命を齎すものといはれる、先づ變つてゐるのはその形態であつて凡そ船と云ふ觀念からは縁遠い異様奇怪な代物である、即ち水面に現はれた部分は平目魚の如く扁平でその下部には二個の水雷型フロートが取り付けてあるがこれは水に隠れて外からは見えない、この扁平なデッキとも屋根ともつかない部分から僅かに隆起し丁度大型飛行機の前部機體の如く突出した部分に普通船舶でいふ船橋がありその客室はその後部に續いてゐるこの船は船客百二十名を収容し十二名の乘組員に依つて操縦されるもので航行の際は水上機の滑走するが如く水の表面を滑つて進むのである製作主任技師Y・A・ハルトヴイッヒ氏の説明に依ると彼等專門家が一番苦心したのは船體を作る材料で木材、鋼鐵は勿論チエラルミン等も一應は考慮されたが何れも不適當と判明、結局苦心の末にベークライトを主材とするテキストリットなる新材料の製出に成功して漸く久しきに亘る宿題が解決したのださうである、テキストリフトは織物とベークライトを合せ作つたもので軽い上に海水に依る腐蝕に對し抵抗力の強いといふ特長を持つてゐるといはれる、ソヴエートではこの新造船を「海上グライダー」と呼び目下黒海沿岸のソチからスクムに至る間の旅客運航に充てゝ居るが普通の高速モーター船で八時間を要するところをこの「海上グライダー」は二時間半で突走つて了ふといふ快速振りである

生の野菜は胃腸を強くす

煮た物ばかり喰べると胃腸を弱くするといふ實例―東京市内刑務所では囚人の赤痢、チフスを防ぐ爲に生の野菜は一切使はず、すべて煮て食べさせてゐたところ、それでも二〇〇人から三〇〇人もの患者が出ました。これは野菜を煮るからビタミンCがなくなり胃腸の抵抗力を弱くするためです。その後生の野菜も用ひるやうにしたところが、患者の發生を見なくなりました。大根や人參はビタミンCが豐富ですが、特に皮の部分にその四分の三が含まれてゐますから、よく洗つて皮のまゝおろしていただくのが胃腸の強化法です

…夏休み子供の話題…
一億圓とは？
一體どれほどの大金か

一億圓とは一體どれ位の巨額か、それに就いて少しく調べて見ませう、一億圓を全部五十錢銀貨と假定すれば、これを積み上げた高さが富士の高さ（三七七六米）の約七十五倍になり、これを貨物自動車で運搬するとすれば、二噸積の大型でも實に一千台なければ運びきれません、又、全部一圓札なら

積み 重ねた高さが、富士山の約三倍に達し、これを一秒間に一枚の割で數へれば、不眠不休で三年五十二日九時四十六分四十秒間を要します、一人で背負ひ得る金額は一圓札だけならば先づ五萬圓（約四十八瓩即十三貫）、程度ですから、一億圓を運ぶには大人二千人が大汗を流さねばならない計算です、もしこの一圓札を一枚並べにしますと、その長さは一萬四千四百粁で、靑森下關間の長さの七倍よりも尚四百七十粁だけ長いのです、今一億圓で

金塊 を買ふとすれば一匁（約三、七五瓦）十二圓五十錢として八千貫、一枚六百萬圓の黄金の疊が十七枚ばかり出來、豪華極まりない黄金の間が出現します

ハイキングの時
お顔の保護
▽痒い時の手當法△

緑を踏んで樹間を散歩した後に頬が何となく赤味を帶び掻けば掻くほど痒みが増し、果はボロボロが出たり顔全體が腫れぼつたくなつたりする、夏の戸外運動につきものゝいやなお土産です、それは結局皮膚で一番多いのは蕁麻疹でせう

野草 の蕁麻に觸つたり蝶の羽の粉、毛虫の毛などが風に吹かれて皮膚につくと、皮膚にある血管運動神經を刺戟して、血管に變化が起つて赤くなつたり、腫れたりするのであります、それも人により體の方で受けつけない場合に何となない譯ですから、多勢の中の一人だけなることがあります、體内變化がなく特定のものに觸れるといつでも蕁麻疹が起る人もあります、其他に黄櫨の下を通つたり、毒蛾の鱗粉がついたりして純然たる皮膚炎も起ることもありますが、蕁麻疹は出來たものが引いたりまた出たりするのが

特徴 で、皮膚炎は出來たところにいつまでも同じ様にあり一度治れば又現れないので大體區別なさるとよろしい、治療法としては掻き壞さないことと手療治をしないで醫者の治療を受けることです、なほすつかり治るまではパーマネントや毛染などはひかへた方が無難です

連載漫画　オテンキメロチャン
長崎拔天作

火の出るやうな奉仕ぶりを發揮
朝鮮部隊の勤勞奉仕を觀る

興亞建設に燃ゆる烈々たる氣魄と伸び行く興亞の聖鍬に托し炎暑暴陽灼くが如き東滿の門戸間島省延吉街に去る七月十六日憧れの現地入隊を完了した銃後半島の若人！「興亞靑年勤勞奉仕部隊」一四四名は長途の旅の疲れも見せず半島健兒の意氣潑剌とした不屈の氣慨を示して今炎天下にあつて多久隊長の指揮の下に力一杯の奉仕銃後靑年の熱情を傾けてゐる、それに又延吉街から西南方五十七キロに位する延吉縣二道溝で秋田健兒の森林奉仕隊が熱と汗の興亞奉仕を營んでゐる、記者はこれ等若人が理想貫徹のため實踐の大道を歩みつゝある眞摯な勇姿に接すべく延吉街、二道溝の作業現場を訪問、隊員と寢食を共にして血汗奉仕生活の貴い體験を得た、以下は銃後國民におくる生々しい現地の報告である

□

記者は去る一日午前九時五分延吉着、先づ省公署並に縣公署を訪問、作業地視察の日程を取決め午後一時頃半島健兒一四四名が陣取つてゐる、大和路大和國民優級學校を訪れた、當日は重松部隊の創立第一周年紀念日に當り運動會があつたゝめ全員參觀に行つたとか…多久隊長一人留守番をしてゐた、この朝鮮部隊は朝鮮全道より十名宛選抜された十八才以上二十九才迄の熱血靑年で去る十六日現地到着以來旣に田島の雜草取り、練兵場射撃場の草刈等を了へ卅一日からは重松部隊の道路工事改修に着手、一日工程七十米といふ火の出るやうな奉仕振りを發揮ししかも一名の病人も出さず元氣旺盛、半島健兒の氣概を示してゐる

同奉仕隊の日課を見るに午前五時三十分起床、點呼清掃の後、遙拜、日本體操同七時に朝食、八時からは現場の作業に移るのであるが、諸當番勤務を命ぜられた内勤班は舍内當番、本部當番、風呂當番、衛兵當番不寢番、受附當番、食事當番に分擔され、夫々當番司令の指揮下に勤務してゐるといふ頼母しさだ

黒燒けになつた小洒な京畿道社會課多久安貞勝氏は左の如く語つた

御存じの通り間島地方は我々半島とは切つても切れない歴史的、地理的、民族的に不可分の關係にありますし之より見ても日滿開拓國策にも因縁の深い磐石不動の地であると思ひます、この地で我等半島部隊が奉仕出來る事になつた事を喜ぶ次第であります、初めの中は仕事に馴れない辛さがあつたと思ふが今は驚く程能率を發揮して毎日の工程を進めて行きます、全員健康で何よりも愉快です

□

二日午前五時三十分起床ラッパと共に全員點呼され皇居並に帝宮を遙拜し日本體操を行つて同七時に炊事當番の熱誠籠る食卓に並び味噌汁に腹をこしらへ同八時隊旗を先頭に縱隊歩武堂々作業現場に向つて進發した、緑濃き山野の展開、働く農民、滿洲とは思れない程草木、民風行凡て半島農村の風景そのまゝである、約卅分間行軍して〇〇の兵營前に至り二班に分れる、一班は軍用道路改修工事に、一班は兵營前の道路改修工事に夫々向つた東滿の陽に燒けた隊員五十五名の顔、三浦忠南部隊長が率ゐる兵營道路班に記者は同行した、現場に着くや號令一下上衣を脱げば赤銅色に光る頑健な肉體、まさしく銃後日本の頼母しい靑年達の姿である、一方北御門黄海道部隊長の率ゐる六十五名の軍用道路班は東に進む事半里、これも亦號令一下緑の大地が割れんばかりの元氣にてエッサエッサと溝を掘つて行くと思ふと、最早後方部隊は地均しに熱中、見る見る中に綺麗な軍用道路が改修されて行く、一擧一動燃ゆるその意氣、整然たるその規律、荒れ果てた東滿の地はこの若人の汗によつて拓けて行くであらう、やがて午後零時晝食を取り午睡に入る、或は四、五人宛圓陣を造り國の話笑ひ話で花を咲かせる

おいらは滿洲に來た様な感じは一つもない、氣候風土も同じだ…

國へ歸りたくありませんかと訊ねると

歸りたくありません、私達も滿洲國民として永遠に働きたいのであります、而して新東亞建設の一員として精進しようと思ひます

□

と意氣潑剌たる所を見せた、午後七時夕食を終ると八時半から研究會、座談會等に入るのであるが不寢番だけが舍内を巡視し勤務に從事すると云ふ訓練振りだ、尚二三日後から〇〇掘工事に移ると云ふ隊長の説明で記者は朝鮮部隊と一先づ別れを告げ二道溝秋田健兒の森林部隊を訪れる事にした

ラヂオ
けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局】十一日（金曜日）

朝
- 六、〇〇（新京）建國體操
- 六、一八（大連）入港船のお知らせ
- 六、二〇（東京）ニュース
- 六、三〇（大連）初等滿洲語講座　秩父固太郎
- 六、五五（新京）朝の修養　協和の心（一）　恒吉秀雄
- 七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）
  一、ヴァイオリンとピアノの爲の奏鳴曲ヘ長調　モーツアルト作曲
  第一樂章　アレグロ
  第二樂章　アンダンテ
  第三樂章　アレグレット
  二、管絃樂　管絃樂用序曲　モーツアルト作曲
- 八、二五（新京）建國體操
- 九、〇五（東京）經濟市況
- 九、三〇（東京）經濟市況
- 一〇、〇〇（大・新）經濟市況
- 一〇、〇五（哈爾濱）幼兒の時間　お話　鉢の金魚　青木文夫
- 一〇、二〇（哈爾濱）母の時間　衛生上注意すべき菓子　醫學博士　佐藤靜馬

晝
- 一〇、四五（奉天）家庭メモ
- 一〇、五〇（奉天）料理獻立
- 一一、三五（大連）經濟市況
- 一一、四〇（東京）經濟市況
- 一一、五九（東京）時報
- 〇、〇一（新京）晝の演藝（レコード）朗吟・詩吟と尺八吹奏
  一、和歌朗吟　明治天皇御製
  （イ）戰の場は
  （ロ）あらはさむとき
  （ハ）いつの日か　吉田朗風
  二、詩吟
  （イ）皇師百萬
  （ロ）鞭聲肅々
  （ハ）滿洲雜吟　横山陶敏
  三、尺八
  （イ）新月　吉田朗風
  （ロ）英靈に捧ぐ
  （ハ）子守唄
  （ニ）海　吉田晴風

夜
- 〇、三〇（東・新）ニュース
- 一、〇〇（大・新）經濟市況
- 二、一〇（大連）經濟市況
- 三、二〇（東京）經濟市況
- 四、〇〇（東・新）ニュース
- 四、四〇（大連）經濟市況
- 五、二〇（新京）ニュース「鮮語」
  （新京）演藝「鮮語」
- 六、〇〇（東京）子供の時間　お話　海底探險
- 六、二〇（東京）コドモの新聞　海老名謙一
- 六、二五（錦縣）趣味講演　イミロザンを語る　三浦浩
- 七、〇〇（東・新）ニュース
  （新京）告知事項・今晩の番組
- 七、三〇（新京）特別講演　敬弔白廟の日　關東軍副官　橋本洋
- 七、四〇（東京）講演　華僑の勢力とその動向　神田秀雄
- 八、〇〇（東京）管絃樂　東京放送管絃樂團　指揮　山田耕作
  一、ペール・ギュント第一組曲　グリーク作曲
  （イ）朝の情調
  （ロ）オーゼの死
  （ハ）アニトラの舞踏
  （ニ）山王の廣間にて
  二、ペールギュント第二組曲　グリーク作曲
  （イ）イングリッドの歎き
  （ロ）アラビヤ人の踊り
  （ハ）ペールギュントの歸郷
  （ニ）ソルベージの唄
- 八、四〇（新京）講演　外人の見た事件　池上元
- 九、〇〇（東京）十分間演藝「朗らか日記」（七）富士登山の巻　横山隆一作　トキ子さん　明日待子　ルミ子さん　中村めい子　姉さん　山縣直代
- 九、一〇（東京）時事解説
- 九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解説
  （新京）ニュース・告知事項・明日の番組
- 一〇、三〇（新京）今日のニュース
- 一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

學藝

ボヘミアンガール日記（●）

呉似鴻　川内堯譯

一月十九日
首都に來て、まだ一頁も本を讀まない、心に感じ書くだけの値打のあることを仔細に書いた、が今どうしたらいゝか判らない
雪！
お前は一日中降つてゐる
一日中飛んでゐる
隨分と高い空を飛んだ
隨分と遠い道を飛んだ
一刹那一地に吻づけた一刹那
お前はゆつくり音もなく消えて行く
おゝ、お前一體何のためだ
私はお前に向ひ合つてゐて
自分の寒さを忘れてゐた
薄いマフラーを巻いてゐただけだつた

一月二十日
これまでに昨日から今日へのやうな幸福と辛さを受けたことはなかつた
Yは確かに可愛い少年である、彼のものを言ふ聲、彼が微笑む時の眼、彼のあの小さな唇、みな人に一種特別の興趣を感ぜしめる、それに彼の私に對する態度も非常に親密だといへる、多くの友達の中にも彼ほどの友達はゐない。昨日若し彼がゐなかつたら、あんなひどい風雪で、あんなに暗かつたし私は何度も轉んだことであつたらう。あの孤獨を好む詩人も私によくしてくれた。私は本當に彼等にどう感謝したらいゝかがわからなかつた。
車を降りた
もう黄昏
風が枯枝に吹いてゐる
雪は小路を埋めてゐる
その友人を助けてゐる音
その愛人を背負つてゐる者
雪は私の身體をうつ
風は私達の聲に混る
私達は轉び又起きる
起きては又進め
進め、進め、進め
開け、山には歡聲だ
寒林に紅い燈だ
火把をあげてゐるのは
私達を歡迎する人々ではないか
ハロー！ハロー！

一月二十二日
田漢先生、唐叔明女士、田洪兩先生及び田先生の息海男等と燕子磯に遊ぶ、雪なほやまず。車觀音閣山下に至つて停まり歩行して燕子磯頭に至る、風景極めて勝れ人をして死を欲せしむるばかりなり。
何處から來た燕か
この寂しい河のはてに飛んで來たのは
ぼんやうと此の方を眺める
河の水の更に流れるのに任せる
北方に何があるのか？
どうして南國に止まつてゐるのか？
南國も同じやうに寒く苦しひのに
お前は全身まつ白になつてゐる！
銀の濤は峭壁を打つ
大きな旗は巖嶺にひるがへる
こゝに至つて人々に
自然の偉大さ莊嚴さを感ぜしめる
この偉大さ莊嚴さの中に
熱情の若者がどれだけ葬られたことであらう
熱情の若者たちよ！
私の讃美を受けておくれ
愛情は最高潮に達した
確かに速く死んだ方がよい
やがて來る日のために
「もともと斯うさ」と苦笑する
用意をして置いたがましだ
燕子磯頭に書士立ち
「死ぬべからず」の碑を立てて自殺者を防いでゐる

一月二十四日
私達は昨夜南京に歸つた、田先生兄弟、唐女士、張惠靈君は一つの車だつた、大雪はまだやまず、路は辨別し難かつた、途中水溜りが數ヶ所あつて、極めて危險だつた。幸ひ車夫は馮玉祥將軍の部下で極めて注意深かつた。私達は十時に教育館についた。今日田先生は夜行で上海に歸られると聞いた。それが急に私も一諸に行くことになり忙しかつた。これは流浪に慣れぬからだらう、十何日の旅で、あなたともお別れになる。

國展洋畫評（三）

本田政應

福士友吉の川魚は得意な靜物であるだけに物質感も充分に出てゐるし實に達者なものである。少し畫面の下半分が弱いやうであるが。李炳三の小兒們はかき不足ではあるが色調よく雰圍氣も出てゐて優れた作品である。久保邦一の多のハルビンは雪の質感が全々ない。池田季藏の市場の一隅は堂々として量感もあるがカゴは畫面をもつと切つた方がよい。松原猛雄の鐵都夏景は空の白が浮いてゐる。池田甚三郎の寛城子風景は家に愛情を持つて描いてないからガタガタである、地面の黄色はきいてゐる。

第七室では伊藤午郎のかには質感よく藤井剛夢の廻轉木馬は輕くスムースに空氣が出てゐるが迫力はない。蟻生善四郎の風景は作畫意慾が國展唯一のユニークさである。矢野武子の植物園は木の葉の靑で困つたことゝ思ふ。船坂正芳の初秋はタッチの亂れが眼につく。濱田九一郎の民家は庭に廣い一面が惜しい、描き足りないのでマチエールの迫力にとぼしい。池邊眞喜の杜二點は平面單調な木の葉、力のない木の幹畫面によくようなく大作を二枚も並べて見るにしのびない。

第八室では村木一丸の靜物は健實な追究をあげたい。津田治七の土の家は鉛色の空が重い。百田裕吉の横丁の風景はグワッシュの空で生きてゐるがなげやりである。白崎海紀の祭の女は色感よく線も充分にくつゝいてゐるが表面的で體の骨組を描いてゐない。二つの型の顔を大きく小さく配列した簡單な構圖であるがよく纏めてゐる、バックは空であるだけに息苦しい、遠景は場所うめで注意が足りない。然し場中では優秀な作品である李平和の豆腐漿は途中で止めてゐる感じを昨年も受けた太田洋愛の蒙古角力は昨年よりも力が入つてゐない。色彩はよいがバックと人物の色が離れてゐる。開拓地の方が秀でてゐる。平島信の馬家溝を望みては手際よく落付いてゐるが地面の描寫に對して右上の木の葉が重い。荒木輝雄の畫は時代を離れた宗教的な感じを受ける。雲はいらないと想ふ。倉林正藏の雜草は繪具の美しさにとらわれてゐる綺麗ではあるが今一度内面的に喰ひ入つてもらひたい。

書きおはつて八月五日の滿洲新聞の朝刊社會面で五段抜きの「暗雲低迷、國展へ疑惑」と云ふ記事の中で民生部談として左の樣に云つてゐる。のを讀んだ

〃入選入賞の撰定にあたつては相談役の感想にある如く、現在の技術的な點は第二義として將來性のあるもの及びよく滿洲のローカルを表したものを標準として決定したもので、不合理な點は更にない。〃

と云つてゐるが美術作品は現在の作品が全生命で過去や未來は問題でない、將來性のあるものなら小學生や中學生に限る、選に漏れたものが將來性がないなど確定的なことが云へたら御目にかゝりたい、第一に將來性なるものは技術的な基礎なくして發展出來るものでない。

〃また美術委員の資格は、最もよき新興滿洲國の建國精神の體得者であり彼等は審査前に委員會を開き審査の基本的態度を確立し、相談役にこれを報告了解を求め、國展に對する反對者の非難は全くあつて居らないで彼等委員のみが最もよき建國精神の體得者と云ふことは極めて抽象的で比較される事柄でない。委員が審査前に會議して相談役に了解を求めたからとて正しいとか非難されると覺えはないと云ふのはどう云ふ意味か分らない。

〃民生部當局として遺憾の點ありとすれば從來國展の具體的な審査方針と委員會の經過、審査の結果報告の發表をなさずかゝる誤解を招くに至つたにある當局としてはこの非難に對しては近々中に本年度國展の經過報告を取纏め發表するに吝でない。〃

と言明してゐるが然し日本内地と同一でなければならないと云ふのではないが一々當局者が審査方針と委員會の經過審査の結果報告など發表した例は聞かない、そんなことではなく指導方針の確立と建前等にギャップを感ずるから不安心になるのである。

爆撃機

青

旅の文學――淺い

阿部知二

「楡の墓」（『文藝春秋』八月號）
滿洲に材を採つた小說の一つである。いやでも一應は讀んで見るべきであらう。
こゝには哈爾濱に來た旅する主人公が、哀れな境遇で死んで白系露人の墓前祭が行はれる場面に會ひ、また曾つて放埒であつた一友が今は女學校の先生になつてゐるその先生が借金があつて歸國出來ぬといふのでその死んだ末子の遺骨を内地に持つて行くことを頼まれる、それらのことから滿洲の開拓地に用意されてゐる楡の生えた主？のない墓地のことなどを考へる――さう言つた物語である。
これで知られるやうに、これは一種の旅の文學であらう。しかしそこに盛られた材料には仲々小說的なものがあると言ぶことが出來る。作者の物語構成の仕方も相當なものだと言ふべきであらう。だが、その手際の良さを以てしても、これといつてこゝに深い觀察や特別の思想があると言ふことは出來ぬ。平凡なのである。これは別に吉林の――現實の罪ではない筈だ。とすればやはりその責は作者にあるといふことになる。『オール讀物』あたりに持つて行けば光る作品である。（御垣衛士）

傷心

西谷正夫

紅く熟れたさくらんぼの實と
白い水仙はプラトニックの象徴であるのか
爽やかに心のふれあふ生活もなく
哀歎を湛へて泪ぐんでゐたあの瞳も黒耀石の海である
ある夜は愛情の梢に白い花が咲き
ある夜はカンヴァスのうへで稔る感觸をいとほしみ
ある夜は忘れてしまつた彼女の頬に紅をさしてやるのだつた

唇にはアマリリスの香がにじみ
橡の嫩葉がひらくやうなつゝましいゆふぐれの動物生理をだきしめるのである
それは虚僞の裝ひでなく
愛情を失つた反逆の論理である
世紀の良心に灰めいてくる
清淨な表情である
紅いさくらんぼと白い水仙と

銀の匙にのつて

銀の匙にのつて
溜息がほろほろうたつてゐます

きみちやんも
海の遠くを眺めませう
沖に白帆がみえるでしよ
海が緑の牧場なら
銀の汽船にのつても
きみちやんの爽しみは
わたしの唇には訪れることができないのです
きみちやん
海の遠くを眺めませう
銀の匙にのつて
溜息がながれてゆくでしよ
ね、ほら
銀の匙にのつて

こひのもえさし

びらうどの空に
すいれんの花がひらく
一つ
二つ
三つ
日はまひる
碧空に
いぶしぎんのこひのもえさし
一つ
二つ
三つ
やはらかい紺青の海
すいれんの花がひらく

新しき小徑

桃色の珊瑚礁
空の碧さにも似ず
紅の黄昏の
生命みじかい愛情にさへ
銀河は裸でまどろんでゐる
白い帆船が
珊瑚礁に透き冴えるころ
遠樹の梢に匂やかに香る一
朧らかに甘い清らかなひかりを抱くことができるだらうか
眞實に色も匂でもよみがへる
桃色の珊瑚礁よ
生きて滴る乳絲のなめらかな肌の匂ひに
未練な牡丹は
細い吐息になきあかすのである
青ざめた珊瑚樹よ

首警協力、民間積極的乘出し
在鄕警官出身者が警友會組織計畫
有志間に結成の準備

警官の轉出者が相續く國都では首都警察廳管下六警察署で總計二百名の定員不足を告げてゐるが過日の日本橋通派出所警官射殺事件を些細に檢討すれば警官不足も有力な一因をなしてゐたことが否まれぬ事實で、この事實を知つた市內の官廳特殊會社を初め各種職業に從事してゐる元警察官出身者は深く首警當局の苦衷を察した結果、首警の援助機關として在鄕警察官出身者を糾合して警友會を組織し、一旦事ある場合の應援は元より年少警察官の教導、警民間の連絡等に當らうと一部有力者の間に發會準備が進められてゐるが國都の在鄕警察官出身は千百名に達する多數であり會結成後の活躍は多大の期待がかけられてゐる

一般からも募集
防犯協會 會員組織强化

結成以來、防犯思想の宣傳に活潑な活動を續けてゐた新京防犯協會では現在會員が各種營業者のみで形成せられ活動範圍が自然縮小されるところから防犯の目的達成上に不便を感ずるに至つたので來る十五日午後一時三十分から國防會館で役員會を開き會則の一部に大改正を加へ、新京市內に居住するもので會の趣旨に贊同するもの凡てを會員とすることとし會組織擴大强化を圖ることになつた

留守中家財盜難

市內錦町三丁目三安藤キクさんは九日午後八時三十分頃外出、同十時歸宅したところ、留守中侵入した賊に家財を引ッ搔き廻された擧句洋服、着物、蓄音機等約五百圓を盜まれてゐるのを發見吃驚して中央通署に屆け出た

國展、好評裡に閉場

絢爛豪華な美術繪卷を繰り擴げて去る一日より開かれた第三回滿洲國美術展覽會は畏くも皇帝陛下の上覽に浴し、又優秀作品の宮內府御買上などあり、第一、第二兩會場とも非常な好評を博し連日押し寄せる觀覽者で賑つたが十日午後六時その輝かしい美術の幕を閉ぢた、會期中の入場人員約一萬六千名、賣上點數洋畫十五點、日本畫及書十七點（價額八千餘圓）に達した

記者聯盟に謝電

西部國境戰線の日滿兩軍將士慰問行の途次にある全滿記者聯盟代表サレミヤ社長ほか六氏は九日海拉爾日滿各部隊を訪問、夫々慰問文と慰問品を手交したが十日滿洲國通信社內の聯盟事務所宛興安北警備軍司令官烏爾金中將より次の如き感謝電があつた

今回貴聯盟より代表を差遣せられ、當軍に對し慰問文並に慰問品贈與せられ、將兵一同感激に堪へず、將來益々奉公の誠を致し日軍と協力國民の意に副ふ如く努力せんことを期す

右謹下一同を代表し篤く御禮申上ぐ

大連商店組合が英品不賣買決議
關係方面に通告發す

大連愛國商店聯盟では十日午後一時から緊急常任委員會を開き、暴戾あくなきイギリスの蒙を啓くべく英品不賣買の決議を行ひ即日實行に移すと同時に左記決議を關係各方面に通達した

△決議文

今次聖戰に際しイギリスは極東新事態の認識を誤り現在依然としてその非を改めざるのみか、なほ東亞新秩序建設の大道を不當に阻まんとす、吾人の隱忍自重今やその極に達せり、仍て本聯盟はイギリスの對支方針の根本的是正を要求し、その反省を待つためこの常任委員會決議を以て英品不賣買を申合せ即時實行することを聲明す

無敵皇軍の勇猛
決死從軍の興安學院蒙古學生
感激の現地報告文

次代の蒙古を擔つて起つべく王爺廟の興安學院に專心學業に勉んでゐた蒙古學生廿名はノモンハン事件勃發の報を聞くや鬱勃たる雄心押へ難く自發的に軍通譯を買つて出て國境戰線に出動、わが皇軍勇士の耳となり手となつて決死的活動を續け、皇軍から感謝の的となつてゐるが、從軍してから既に月餘、饑饉と酷熱と砲煙下を馳驅してこの氣鋭の學徒達は何を感じ何を體得したか、十日新京蒙古會館に硝煙の匂ひとなまなましい五つの從軍感想文が戰地から屆けられた、感想文の內容は何れも日滿共同防衛の一試錬ともいふべき、今次事件に從軍出來たことの喜びと同族を誤らせてゐる老獪ソ聯撃つべしの正義感に溢れてゐるものばかりだがこの通譯義勇軍が何に一番感激したかといふことに就いては五つの感想文とも「皇軍將士の死を超越した勇猛果敢さ」であつたことを一樣に書き綴つてゐる、その感激に溢れた二、三を拔萃してみると

△學院五年生、胡河巴達爾胡君

嚴格な軍規の下に動いてゐる皇軍と共に生活を共にし生死を共にすることが出來たことは私の一生涯にとつてこれ以上の光榮があるだらうか、私は七月二日から前線へ出動して哈爾哈河流域の壯烈極まる殲滅戰を手にとるやうに觀戰したが、約一週間といふものは私自身をすつかり忘れて久しく最大の感激と印象にひたつてゐた、東西南北に銃聲が響き火柱が空中に黑煙を捲き起しその間を無數の飛行機が猛禽のやうに鬪ひ、地上に戰車が唸り、機關銃の音は晝となく夜となく續いて敵の爆彈は私の前後左右を離れたことがなかつた、その時私は半分死んだやうになつてゐたのであるが、側にゐた皇軍の勇士達は銃を強く握つて分隊長が「突撃！」と聲を出すと同時に鷲のやうにサッサッと敏捷に飛び進んで行つた、（中略）戰闘最中糧秣輸送が遲れて私達は三日間も斷食同樣の日を送つたことがあつたが、皇軍の勇士達は一人として不平をいふものもなく顏に一抹の飢色さへも現はさず元氣一杯で敵を強擊した、どの戰闘においても皇軍は肉彈を以て敵に接近した、しかし敵軍は遠くで機械を使ひながら皇軍から離れやう離れやうとしてゐた、私は無敵皇軍がなぜ無敵であり百戰百勝の戰闘をするかをこの時はつきりと知らされたのである

△學院五年生、木雅力君

（前略）皇軍は僅か數日の間に越境外蒙赤軍を哈爾哈河の向ふに撃攘した、敵は色々な武器を使つてゐるやうだが、皇軍が多數の敵をまたゝく間に叩きつけたのは皇軍の世界無比な優れた精神的戰闘力によるものだ、われわれは皇軍に感謝しなければならない、我々は皇軍の奮戰努力に依つて今日の安居樂業が出來てゐることを想ひ今後益々協同一致して銃後の援助に努め一錢も浪費せず國防獻金に投じてこの皇軍の恩義に酬いねばならぬと思ふのである

△學院五年生、額爾登君

日本軍は戰場において戰ふ際、毫も勳章やその他の報酬を得んことを目的としてゐない、たゞ危險を犯して國を護る人間としての最高道德を行つてゐるのみである、一死報國のために犧牲となり靖國神社に還るといふ比類なき大精神に燃えて東洋平和のために戰つてゐるのである、私は今回の從軍で言葉に表しない教訓を日本軍勇士の態度から澤山學びとつた（後略）

といふ風で蒙古青年の純粹な感激をいづれも僞りなく筆に託してゐる、會館ではこれ等の感想文を近日中に會館發行の週刊紙「蒙古新民報」に揭載、廣く銃後蒙古人に皇軍勇士の忠勇ぶりを知らせることになつてゐる

未教育補充兵訓練 教育召集を受けた未教育補充兵の教育訓練は十日午後四時から八島小學校々庭に於て開始したが、先づ一同は新京神社に參拜、武運長久を祈願、辻聯合分會長の訓示あつて後熱汗淋漓の張切つた訓練に移つた

“滿鮮競技”選手早急補充に決定
滿鐵飽まで方針不變

全滿スポーツ界に大波瀾を投じた滿鐵當局よりの「時局重大の折社員の內地旅行は絕對許可せず」との爆彈はさきに全國都市對抗野球の缺場を見また滿鐵社員に多くの選手を擁する滿洲運動界は來るべき滿鮮綜合競技日滿華交驩競技にも一大暗影を投げた、然し乍らその後滿鐵當局と體聯との間に折衝が重ねられてゐたが、滿鐵當局の方針は嚴として搖がず十一日正式に滿鐵社員の內地旅行禁止を決定したので體聯でも滿鮮を十八日に控へてこれが早急に代表選手の補充をなすべく協議したが滿鐵社員の運動參加してゐる種目は陸上、馬術、卓球、排球庭球、軟式庭球、拉式足球體操の八種目約六十名の多きに達するので相當の補充を要するが大體これが補充も決定したので近く正式發表の筈である、なほ日滿華の競技大會にはこれら滿鐵社員の出場は可能であり右大會には文字通り全滿一流選手の出場が見られるわけである

故小倉曹長告別式

日支事變に或は國境警備に赫々の武勳を樹て遂に興亞の人柱として散華した市內羽衣町一丁目一四故陸軍步兵曹長小倉茂助君の敷島、吉野兩區合同告別式は十日午後五時よりその勳功を物語る各方面から贈られた花環にぎつしり埋つた西廣場滿鐵俱樂部で嚴父小倉茂氏を始め遺族、在京各部隊、市公署、在鄕軍人會、海友會、國防婦人會その他官衙、諸會社代表參列の下に佛式によつてしめやかに嚴肅に擧行された【寫眞は告別式場】

日滿對抗相撲大會
あす大同公園擧行

勃興期にある滿洲角道界をあげて待望の日滿對抗相撲大會は十二日午後三時より大同公園相撲場に於て盛大に開催されるがこの大會を飾る日本學生相撲軍一行は十一日午後九時三十五分着列車で來京する

白露協和青年團一行離京

去る七日來京した白系露人協和青年團百六十四名は南嶺の建國廟において二日間の勤勞奉仕を終了、十日は市內見學の後、小田川、片桐兩指導員ならびにグリバノフスキー濱江省視學に引率せられ協和會白露事務局各關係者の見送りを受けて午後十一時五十分發列車で哈爾濱に向つた

菱刈大將も同行 學生劍道軍來征

【東京國通】滿洲帝國武道會へ出場の日本學生劍道聯盟の選拔劍士二十二名は十二日東京出發約三週間の豫定で新京奉天、大連の各地に遠征を行ふが同聯盟會長菱刈大將は此の遠征軍に欣然同行を決意、全國各大學より選ばれた元氣一杯の若き劍士を率ゐて海路渡滿する事となつた

ビューロー主任更迭

ビューロー新京案內所主任石畑一登氏は今回の異動で濟南に轉出、後任には青島から本村隆雄氏が着任することに決定

市公署の楢田財務處長、處長になつてからといふものは公私に拘らず最近は必ず一次會だけで眞直ぐに家に歸るやうになつた▼どうした心境の變化かと思つて訊してみると曰く「市の健全財政と同じにわしも財政の建て直しをやらうと思つてね」といふ、これだけ聞くと仲々み上げた心掛けだが▼實は彼氏先妻を失つてから今年の八月か九月で三周忌が濟むのである、再婚の準備とにらんだはひがめか？何れにしても健全財政は悪いことではないらしい

非常線十九時間
―警官狙擊事件報告書―
犯人遂に逮捕 搜査陣にどつと揚る凱歌！ 噫……されど還らぬ桑田警尉 (七)

兇事發生の翌日八月二日、その日も朝から灼熱の太陽が乾き切つた國都の上に爛々と輝き、路上のアスファルトは飴の樣に溶け、人は水に渴した魚の樣に喘いでゐた、非常線形成から十三時間半、二日正午に於ける順天醫院內の桑田警尉の容態は昨夜來からまんじりともせず、夫の片手を握りしめてゐるやいの夫人にもそれと解る絕望狀態を呈して來た、手の力が拔けてだんだん冷めたくなつてくる、それでも入りかはり立ちかはり搜查本部から同僚、上官が見舞に來る度に「まだ捕らないか？」と最後の氣力を絞つて問ふのはその言葉だけだつた、兇彈に殪された肉體が犯人逮捕をみるまでは死んでも死にきれずだらう、責任感の精神力のみで、生死の境を彷徨してゐる傷まし姿には警尉にもまして同僚達は腸を搔きむしられる思ひであつた

◇　◇

灼熱の太陽が全市をゆで切つた午後二時、搜查本部へは双陽縣に向つた平岡警佐一行から待ちに待つた第一報が到着した

〃兇漢馬成は實家に立ち寄つた形跡なし、寫眞を入手、郵便で送る〃第一報を中心に直ちに搜查會議が開かれた

〃事件發生當初から絕大な助力を惜しまぬ鐵道警護總隊の努力により鐵路による高飛びは不能である、實家親戚に立ち寄らぬところを見ると犯人は必ず市內に潛伏中だ、上衣を持たず、金を持たない犯人は夜と共に食を求めて姿を現はす筈である、寫眞が到着次第一千枚複寫する、本夜十時各署刑事及び非番員は全部私服で集合、一千枚の寫眞を全非常線に配布して一齊檢索を斷行する、各自は犯人に出會つた最初銃彈の洗禮を受けるものと覺悟して貰ひたい〃

會議の結果が命令となつて發せられた、午後四時十五分けたゝましく鳴り響く電話の受話機を外して耳に當てゝゐた搜查本部員村中警尉補の顏色が變つた

「犯人がつかまりました」と聲が上ずつてゐる

「何處だ？」

「小五馬路の旅館萬發棧です」

何とも名狀することの出來ない空氣が搜查本部を包んだ

非常線形成以來十九時間、一睡もしないで頑張り續けた岡本、岡、小谷三警佐、平井警尉が言葉もなく突き立つてゐる「直ぐに搜查本部へ廻す樣に場所がいゝ場所がいゝ」と谷口司法科長がハタハタと扇子で風を入れて瞬時の沈默は破れた、去る二月市內祝町丸正質店を襲つた李冠英事件のにがい經驗から犯人の顏を見るまでは安心が出來ない、十分も經たないうちに「これだこれだ」と慌たゞしい足音が中央通署內に響いて十數名の刑事に押されながら惡運盡きた兇漢は姿を現した、動かぬ證據のモーゼル一號拳銃、ドッと歡聲が擧つた、十九時間の死鬪は遂に報いられた、凱歌は高らかに首都警察廳に上つた

「祝杯だ！」と包みきれぬ喜びに湧きかへる搜查本部に「御苦勞だつた」と部下の勞を犒らつた田村副總監は直ぐに自動車を順天醫院に飛ばせてゐた

◇　◇

前夜二回の輸血で意識を取りかへし、萬一の僥倖を抱かせた桑田警尉は午後一時に至つて急性腹膜炎を併發、第二回の輸血も空しく全く重態に陷つてゐた、一時半から二時半に亘る一時間の切開手術も効なく全く昏睡狀態をつゞけてゐる時、副總監は犯人逮捕の快報を傳へた

それまで目を閉ぢてゐた桑田警尉が目を開いた、蒼白い頰にポッと生色がよみがへり、兩眼に淚が一杯たまつてゐる「濟まん」と一言

安堵の吐息と共にガクリと再び昏睡狀態に歸つて行つた「濟まん」これが桑田警尉の地上に殘した最後の言葉となり、同夜九時五十分、奇しくも兇彈を浴びて以來丸一日の同時刻、寂として聲のない順天醫院內の電氣時計が五十分の日盛にガクリと動いた時王道警察官の華として遂に警尉の靈は昇天したのである

◇　◇

徹宵非常線十九時間、國都を震撼させた警官狙擊事件はかくて首都警察廳の統制搜查陣に凱歌は擧り國都の守りは血塗れた桑田警尉の殉職を尊い犧牲として完うせられた【完】＝寫眞は兇彈に殪れた桑田警尉と犯人馬成

河本理事長東上

滿炭理事長河本大作氏は社債發表其他の要務を帶びて十日午後六時五十分發のぞみで平田秘書を帶同東上した

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎作　中島喜美書

（百十二）

悲運の底へ（仲子の手記）（2）

『だが、君』

十八郎は、それを聴くと、ちよつと不審な眼をして

『君のいふ　以毒以制と云ふ方法は、そりや結構だが、肝腎の、それが何處にあるか、もし、日本に支那があるならそれが何處か、ねえ君、君は僕の社の長江航路に陰謀が企てられてくると云ふ……。そしてそれを未然に防ぐべく結社同志を闘はせると云ふ……つまり、毒を以て毒を制する手だね』

『さうです』

『だが、するとだ、なにより彼らとの接近が先決問題となる、何處だね？、結局、それが明らかでなければ、机上の空論になつてしまふ』

『お安心ください』

李は、十八郎が云ふのを聴いて、につこりと笑ふのだつた。

『じつは最近、機會があつてやつと知ることが出來たのです。お話しゝませうか、ではまづ、これを御覧下さい』

と、ポケットから、一枚の新聞の切り抜きを取り出し、それを、訝かしさうな十八郎に突き付けた。

が十八郎は、標題を見たゞけでハッと顔をあげ

『うゝむ、こりや君、六十年間外へ出たことがないと云はれる事ぢやないか』

『さうです。この記事は、もう二三年まへのものです、こりに、私に機會が來ました。のウイムボーンがあつたばかまづ、豫備知識としてお讀みくださいませんか』

それには

——怪英人アッシャー・ウイムボーンの家とある。

横濱と云ふ、古い港の町々には、その土地特有の、情調を濃くみなぎらしてゐるものがある。

實際、山手と云ふ、丘に並んだ青い窓の帷幕の沈默のなかゝらもまた支那町の、薄よごれた店舗の甍からも、およそ怪奇な幻影を見ることが出來るのである。

わたしは、その町々を歩く毎にいつもさうした、薄氣味惡さを感ずるのであつたが、そのうちウイムボーンの家が一つのこんもりとして、森のなかにあるのを知ることが出來た。

その夜は、雨もよひの暗闇だつた。

左は崖——、崖に等しいほど、高々とした石垣が、青苔にまみれ蒼然と、夜の色に涯しなく溶けてゐるのだ。右は、地藏寺門の黒板塀——。

こゝらは、伊勢崎町邊りの雜沓とはちがひ、寂然としたまつたく夜の天地そのまゝであつた。

私は、そこに疑つと立ち止まつて、何と云ふこともなく壊れかゝつた破風のあたりを眺めてゐた。

月の光を遮る繁みの蔭に、あるかなきかのやうな館の灯

そこに、六十年門外不出と云はれる、アッシャー・ウイムボーンが棲んでゐるのだ。

私は——ウイムボーン訪問を托された、ヘラルドの記者であるが——この老英人を、かひ間見ることは、ほんとに望みなしと云ひ聴かされてゐた。

何のために、六十年も日本にゐて、しかも一歩も外出せず、いかにして衣食してゐるのか、また年金でもあれば、これが一體いづこから送られてゐるのか——分らなかつたのである。

たゞ人は、猜疑の眼をこの老人に注ぎ、さまざまな幻想を投げ込んで一つの映像にまとめやうと焦つてゐた。